

# 2024年度 シラバス(授業内容)

昼間部 2年

エアライン科 キャビンアテンダントコース  
エアポートサービスコース  
エアポートカーゴコース

## 1.シラバスとは

シラバスは、授業の内容を予め受講者に知らせるもので、到達目標・使用教材・単位数等が記載されています。当校の教育理念は「ホスピタリティマインド豊かな社会人の育成」です。ホスピタリティとはお客様をおもてなしすること、心配り・気配り・思いやりを意味します。相手の立場に立って考え、行動できる人間を育成することを念頭にカリキュラム編成をしています。同時に卒業後、即戦力として活躍できるよう専門分野においても基礎・応用からの実践教育を取り入れたカリキュラムとなっています。

## 2.科目編成(カリキュラム)の概要

科目編成は、共通科目と専門科目です。

全科目が必修科目となり、卒業にはすべての単位取得が必要です。

- (1)共通科目:人間力を高めること、職業人として必要なビジネス教養を身に付ける科目構成です。
- (2)専門科目:各各コースの専門分野に即した科目構成です。



学校法人 中村学園

国際トラベル・ホテル・ブライダル専門学校

# 2024年度昼間部2年 エアライン科キャビンアテンダントコース

## 進級・卒業基準単位

		1年		2年		卒業 基準単位
		前期	後期	前期	後期	
必修	共通科目	7	8	6	6	27
	専門科目	18	26	20	14	78
合計		25	34	26	20	105

各期全単位を取得すること。

## 履修科目・単位一覧

実務経験のある教員による科目

	1年前期				1年後期				2年前期				2年後期			
	科目名	区分	単位	時間数	科目名	区分	単位	時間数	科目名	区分	単位	時間数	科目名	区分	単位	時間数
共通科目	ホスピタリティ I	演	1	15	ホスピタリティ II	演	1	15	卒業研究 I	講	2	30	卒業研究 II	講	2	30
	キャリアデザイン I	演	2	30	キャリアデザイン II	演	5	75	キャリアデザイン III	講	1	15				
	ビジネスコミュニケーション I	講・演	1	15					ビジネスコミュニケーション II	講	1	15	ビジネスコミュニケーション III	講	1	15
	就職筆記対策 I	講	1	15	就職筆記対策 II	講	1	15	脳力開発 I	演	1	15	脳力開発 II	演	1	15
	Let's Speak English I	演	1	15	Let's Speak English II	演	1	15	Let's Speak English III	演	1	15	Let's Speak English IV	演	1	15
	パソコン	演	1	15									国際交流	演	1	15
	小計		7	105	小計		8	120	小計		6	90	小計		6	90
必修科目	English Communication I	演	1	30	English Communication II	演	1	30	English Communication III	演	1	30	English Communication IV	演	1	30
	TOEIC Advanced対策 I	講	4	60	Airline English I	演	1	15	Airline English II	演	1	15	Airline English III	演	1	15
	Ideas&Opinions I	講/演	1	15	TOEIC Advanced対策 II	講	4	60	TOEIC Advanced対策 III	講	3	45	TOEIC Advanced対策 IV	講	1	30
	手話講座 I	演	1	15	Ideas&Opinions II	講/演	1	30	国内観光地理 I	講	1	15	国内観光地理 II	講	1	15
	中国語/韓国語 I	講	1	30	パソコンスキル I	演	1	15	パソコンスキル II	演	1	15	パソコンスキル III	演	1	15
	エアライン概要 I	講	1	15	手話講座 II	演	1	15	手話講座 III	演	1	15	手話講座 IV	講	1	15
	業界ガイド	講	1	15	中国語/韓国語 II	講	1	30	中国語/韓国語 III	講	1	30	中国語/韓国語 IV	講	1	30
	CA入門	演	1	15	エアライン概要 II	講	1	15	航空機研究	講	1	15				
	美育 I	演	1	15	エアライン受験対策 I	演	1	15	エアライン受験対策 II	演	1	15				
	機内サービス実技演習 I	演	1	15	CA実務 I	演	1	15	CA実務 II	講	1	15				
	メイクアップ講座	演	1	15	美育 II	演	1	15	美育 III	演	1	15				
	ワールドデスティネーションズ I	講	1	15	機内サービス実技演習 II	演	1	15	観光英検対策 I	講	1	15	観光英検対策 II	講	1	15
	アマテウス I	演	1	15	English Interview	講	1	15	ワイン入門	講	1	15				
	エクササイズ I	演	2	30	ワールドデスティネーションズ II	講	1	15	ワールドデスティネーションズ III	講	1	30	ワールドデスティネーションズ IV	講	1	30
					アマテウス II	演	1	15	電話応対ベーシック I	演	1	15	電話応対ベーシック II	演	1	15
					エクササイズ II	演	2	30	エクササイズ III	演	2	30	エクササイズ IV	演	2	30
					TOEIC Advanced集中講座	講	2	30	危険物取扱講座 I	講	1	15	危険物取扱講座 II	講	1	15
					Airport Study	演	2	30					企業実習/ボランティア	実	1	30
					海外語学研修	演	2	30								
		小計		18	300	小計		26	435	小計		20	345	小計		14
計	1年前期 計		25	405	1年後期 計		34	555	2年前期 計		26	435	2年後期 計		20	375
			1年 計				59	960			2年 計				46	810
			2年間 合計						105						105	1770

行事	1年前期	1年後期	2年前期	2年後期
	スタートアップセミナー オリエンテーション ユニバーサルマナー検定	スピーチコンテスト AAセミナー	オリエンテーション	中村学園祭

# 2024年度昼間部2年 エアライン科エアポートサービスコース

進級・卒業基準単位

		1年		2年		卒業 基準単位
		前期	後期	前期	後期	
必修	共通科目	7	8	6	6	27
	専門科目	17	26	19	16	78
合計		24	34	25	22	105

各期全単位を取得すること。

必修科目・単位一覧

実務経験のある教員による科目

	1年前期				1年後期				2年前期				2年後期				
	科目名	区分	単位	時間数	科目名	区分	単位	時間数	科目名	区分	単位	時間数	科目名	区分	単位	時間数	
共通科目	ホスピタリティ I	演	1	15	ホスピタリティ II	演	1	15	卒業研究 I	講	2	30	卒業研究 II	講	2	30	
	キャリアデザイン I	演	2	30	キャリアデザイン II	演	5	75	キャリアデザイン III	講	1	15					
	ビジネスコミュニケーション I	講・演	1	15					ビジネスコミュニケーション II	講	1	15	ビジネスコミュニケーション III	講	1	15	
	就職筆記対策 I	講	1	15	就職筆記対策 II	講	1	15	脳力開発 I	演	1	15	脳力開発 II	演	1	15	
	Let's Speak English I	演	1	15	Let's Speak English II	演	1	15	Let's Speak English III	演	1	15	Let's Speak English IV	演	1	15	
	パソコン	演	1	15										国際交流	演	1	15
	小計		7	105	小計		8	120	小計		6	90	小計		6	90	
必修科目	English Communication I	演	1	30	English Communication II	演	1	30	English Communication III	演	1	30	English Communication IV	演	1	30	
	TOEIC対策 I	講	3	45	Airline English I	演	1	15	Airline English II	演	1	15	Airline English III	演	1	15	
	Ideas&Opinions I / 英語基礎文法 I	講	1	15	TOEIC対策 II	講	3	45	TOEIC対策 III	講	3	45	TOEIC対策 IV	講	2	30	
	手話講座 I	演	1	15	Ideas&Opinions II / 英語基礎文法 II	講	2	30	国内観光地理 I	講	1	15	国内観光地理 II	講	1	15	
	中国語/韓国語 I	講	1	30	パソコンスキル I	演	1	15	パソコンスキル II	演	1	15	パソコンスキル III	演	1	15	
	エアライン概要 I	講	1	15	手話講座 II	演	1	15	手話講座 III	演	1	15	手話講座 IV	講	1	15	
	業界ガイド	講	1	15	中国語/韓国語 II	講	1	30	中国語/韓国語 III	講	1	30	中国語/韓国語 IV	講	1	30	
	空港旅客サービス入門	演	2	30	エアライン概要 II	講	1	15	航空機研究	講	1	15					
	カウンター実技演習 I	演	1	15	エアライン受験対策 I	演	1	15	エアライン受験対策 II	演	1	15					
	メイクアップ講座	演	1	15	空港旅客サービス実務 I	講	2	30	空港旅客サービス実務 II	講	1	15					
	ワールドデスティネーションズ I	講	1	15	カウンター実技演習 II	演	1	15	観光英検対策 I	講	1	15	観光英検対策 II	講	1	15	
	アマデウス I	演	1	15	英語面接対策	演	1	15	エアカーゴ入門	講	1	15					
	エクササイズ I	演	2	30	ワールドデスティネーションズ II	講	1	15	ワールドデスティネーションズ III	講	1	30	ワールドデスティネーションズ IV	講	1	30	
					アマデウス II	演	1	15	電話応対ベーシック I	演	1	15	電話応対ベーシック II	演	1	15	
					エクササイズ II	演	2	30	エクササイズ III	演	2	30	エクササイズ IV	演	2	30	
					TOEIC集中講座	講	2	30	危険物取扱講座 I	講	1	15	危険物取扱講座 II	講	1	15	
					Airport Study	演	2	30					企業実習/ボランティア	実	2	60	
				海外語学研修	演	2	30										
小計		17	285	小計		26	420	小計		19	330	小計		16	315		
計	1年前期 計				1年後期 計				2年前期 計				2年後期 計				
	24 390				34 540				25 420				22 405				
1年 計				58 930				2年 計				47 825					
2年間 合計				105 1755													

	1年前期	1年後期	2年前期	2年後期
行事	スタートアップセミナー オリエンテーション ユニバーサルマナー検定	スピーチコンテスト AAセミナー	オリエンテーション	中村学園祭

# 2024年度昼間部2年 エアライン科エアポートカーゴコース

## 進級・卒業基準単位

		1年		2年		卒業 基準単位
		前期	後期	前期	後期	
必修	共通科目	7	8	6	6	27
	専門科目	16	24	21	17	78
合計		23	32	27	23	105

各期全単位を取得すること

## 必修科目・単位一覧

実務経験のある教員による科目

	1年前期				1年後期				2年前期				2年後期				
	科目名	区分	単位	時間数	科目名	区分	単位	時間数	科目名	区分	単位	時間数	科目名	区分	単位	時間数	
共通科目	ホスピタリティ I	演	1	15	ホスピタリティ II	演	1	15	卒業研究 I	講	2	30	卒業研究 II	講	2	30	
	キャリアデザイン I	演	2	30	キャリアデザイン II	演	5	75	キャリアデザイン III	講	1	15					
	ビジネスコミュニケーション I	講・演	1	15					ビジネスコミュニケーション II	講	1	15	ビジネスコミュニケーション III	講	1	15	
	就職筆記対策 I	講	1	15	就職筆記対策 II	講	1	15	脳力開発 I	演	1	15	脳力開発 II	演	1	15	
	Let's Speak English I	演	1	15	Let's Speak English II	演	1	15	Let's Speak English III	演	1	15	Let's Speak English IV	演	1	15	
	パソコン	演	1	15										国際交流	演	1	15
	小計		7	105	小計		8	120	小計		6	90	小計		6	90	
必修科目 専門科目	English Communication I	演	1	30	English Communication II	演	1	30	English Communication III	演	1	30	English Communication IV	演	1	30	
	TOEIC対策 I	講	3	45	Airline English I	演	1	15	Airline English II	演	1	15	Airline English III	演	1	15	
	TOEIC対策 II	講	3	45	TOEIC対策 III	講	3	45	TOEIC対策 IV	講	2	30	TOEIC対策 V	講	2	30	
	エアライン受験対策 I	演	1	15	エアライン受験対策 II	演	1	15	エアライン受験対策 III	演	1	15	エアライン受験対策 IV	演	1	15	
	パソコンスキル I	演	1	15	パソコンスキル II	演	1	15	パソコンスキル III	演	1	15	パソコンスキル IV	演	1	15	
	手話講座 I	演	1	15	手話講座 II	演	1	15	手話講座 III	演	1	15	手話講座 IV	演	1	15	
	中国語/韓国語 I	講	1	30	中国語/韓国語 II	講	1	30	中国語/韓国語 III	講	1	30	中国語/韓国語 IV	講	1	30	
	ロジスティクス入門	講	1	15	通関ビジネス検定対策 I	講	1	15	通関ビジネス検定対策 II	講	1	15					
	エアカーゴ入門(貨物の仕組み)	講	2	30	エアカーゴ実務 I (税関/海上)	演	2	30	エアカーゴ実務 II (フォワーダー)	講	2	30					
	業界ガイド	講	1	15	ディプロマ対策 I A	講	1	15	ディプロマ対策 I B	講	2	30					
	カーゴハンドリング入門	講	1	15	ディプロマ対策 II	講	2	30	国内観光地理 I	講	1	15	国内観光地理 II	講	1	15	
	グランドハンドリング入門	演	1	15	グランドハンドリング実務	演	1	15	航空機研究	講	1	15					
	ワールドデスティネーションズ I	講	1	15	ワールドデスティネーションズ II	講	1	15	ワールドデスティネーションズ III	講	1	30	ワールドデスティネーションズ IV	講	1	30	
	アマデウス I	演	1	15	アマデウス II	演	1	15	電話応対ベーシック I	演	1	15	電話応対ベーシック II	演	1	15	
	エクササイズ I	演	2	30	エクササイズ II	演	2	30	エクササイズ III	演	2	30	エクササイズ IV	演	2	30	
					Airport Study	演	2	30	危険物取扱講座 I	講	1	15	危険物取扱講座 II	講	1	15	
					海外語学研修	演	2	30					ディプロマ講習	講	2	30	
												企業実習	実	2	60		
小計		16	270	小計		24	390	小計		21	360	小計		17	330		
1年前期 計		23	375	1年後期 計		32	510	2年前期 計		27	450	2年後期 計		23	420		
1年 計						55	885	2年 計						50	870		
2年間 合計														105	1755		

	1年前期	1年後期	2年前期	2年後期
行事	スタートアップセミナー オリエンテーション ユニバーサルマナー検定	中村学園祭 AAセミナー	オリエンテーション	中村学園祭

# 共通科目

## シラバス(授業計画)

科目名	卒業研究Ⅰ・Ⅱ			科目区分	共通科目
対象	昼間部全学科全コース			授業形式	講義
実施期	2年 前期・後期	単位数	前期：2単位 後期：2単位	時間数	前期：30時間 後期：30時間
担当	各ゼミ講師				
	実務経験：有・ <input type="checkbox"/> 無				
授業概要	この科目は、自身の興味ある分野を広く調査研究し深く考察することを目的とする。観光関連の中から自らがテーマを決め、主体的に調査・研究を行い、考察を入れてレポートを作成する。今まで学校で学び得た知識や経験、図書館やパソコン、見識者、実地踏査などの手段により情報を集め研究する。講師からの助言・指導を受けながら卒業までにレポートをまとめる。また、研究成果の報告としてプレゼンテーションを行う。また、ゼミ内で優秀な作品を選出し、全体でのプレゼンを行う。なお、卒業研究レポートの中で秀逸なレポートについては、卒業時に「卒業研究レポート優秀賞」として表彰する。				
到達目標	①自身の調査した内容をレポートにまとめ提出する。 ②プレゼンテーションの作成及び発表を行う。				
検定資格	<input type="checkbox"/> なし・必修・任意 名称:				
教科書 教材	なし(適宜必要なプリントをゼミ担当者より配布)				
授業計画	<p>【進め方】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・卒業研究とは</li> <li>・テーマの決め方</li> <li>・レポート作成における調査研究方法</li> </ul> <p>【調査研究】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・調査計画の作成</li> <li>・調査研究の進捗に合わせた個別指導</li> <li>・実施内容の確認</li> </ul> <p>【レポートのまとめ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・レポート構成(序論、章、まとめ)</li> <li>・レポート内容(目的、方法、結果、考察)</li> <li>・文献資料を参考し作成する</li> </ul> <p>【発表】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パワーポイントの作成</li> <li>・サマリーの作成</li> <li>・台本の作成</li> <li>・プレゼンテーション練習と本番での発表</li> </ul>				
成績評価 方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平常点は授業取組姿勢、研究意欲等を考慮する。</li> <li>・以下の提出物は全て提出すること。</li> </ul> <p>【提出物】前期:序論 後期:レポート・発表用資料</p>				
成績評価 基準	<p>A: 出席率 90%以上、平常点 優</p> <p>B: 出席率 80%以上、平常点 良</p> <p>C: 出席率 60%以上、平常点 可</p> <p>D: 出席率 60%未満、平常点 不可</p>				

## 学生へのメッセージ

--

## シラバス(授業計画)

科目名	キャリアデザインⅢ	科目区分	共通科目
対象	昼間部全学科全コース	授業形式	講義
実施期	2年 前期	単位数	前期：1単位
担当	就職担当		
	実務経験：有・ <input type="checkbox"/> 無		
授業概要	<p>1年次とは変わり、就活情報の共有を主とした授業となります。</p> <p>就活は各自の目指す業界、企業により開始時期や進行状況が異なりますので、個々の進行に応じ個別にバックアップし内定に向けサポート致します。また、内定者については自身も含めた就活情報の整理や入社に向けたビジネスマナーの習得をフォローしていきます。</p> <p>後期には内定者を対象に就職交流プラザもあります。後輩への指導や自分達の学校、学科を誇りと出来るように積極的に自分の出来る事を考え、行動する時間としましょう。</p>		
到達目標	<p>1、内定及び進路決定を得ること。</p> <p>2、社会人としての最低知識を有し、実行できること。</p> <p>3、自身の就職活動をまとめ、後輩指導に役立たせられること。</p>		
検定資格	<input type="checkbox"/> なし・必修・任意 名称:		
教科書 教材	MY CAREER NOTEⅢ(ベネッセ iキャリア) 1年次購入済み		
授業計画	<p>【就職活動実践】</p> <p>就活サイトを利用した就活、企業研究、求人確認、業界・企業動向研究、自己PR・志望動機作成、履歴書・ES作成、面接演習、GPワーク演習、小論文演習、SPI対策と模擬試験演習、企業講演</p> <p>【内定後】</p> <p>お礼状作成、内定報告書類作成、就活資料の整理</p> <p>【ビジネスコミュニケーション】</p> <p>ビジネスメール作成、受付と接客対応、名刺交換、ビジネスルールの理解、ビジネスセールストーク術、時事問題、グループワーク演習</p>		
成績評価 方法	期末試験の得点ならびに出席率がメインとなります。平常点は就職活動(進路活動)の取り組む姿勢、授業態度、提出物などが評価基準です。		
成績評価 基準	<p>A: 評価試験 85 点以上 かつ 出席率 90%以上、平常点優</p> <p>B: 評価試験 65 点以上 かつ 出席率 80%以上、平常点良</p> <p>C: 評価試験 40 点以上 かつ 出席率 60%以上、平常点可</p> <p>D: 評価試験 40 点未満、出席率 60%未満、平常点不可</p>		

## 学生へのメッセージ

--

## シラバス(授業計画)

科目名	ビジネスコミュニケーションⅡ・Ⅲ			科目区分	共通科目
対象	昼間部全学科全コース			授業形式	講義
実施期	2年 前期・後期	単位数	前期：1単位 後期：1単位	時間数	前期：15時間 後期：15時間
担当	井部・橋本・担当講師				
	実務経験：有・ <input type="checkbox"/> 無				
授業概要	目的：観光・ブライダル業界人としてふさわしいビジネスマナーや必要知識を身に付けること。 概要：1年次習得した基本のビジネスマナーを基にロールプレイを交えた発展的な内容を学ぶ。 また、一般常識や必要知識を学習する。				
到達目標	卒業後、新社会人として必要なビジネスマナーに関する知識を得ること。また、体現できること。				
検定資格	なし・必修・ <input type="checkbox"/> 任意 名称：秘書技能検定・ビジネス能力検定ジョブパス				
教科書 教材	秘書検定合格教本2・3級 新星出版社 (1年次購入済み)				
授業計画	<p>【接遇】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アポイントから訪問・来訪マナー、名刺交換</li> <li>・電話応対</li> <li>・上座、下座</li> </ul> <p>【一般常識】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ビジネス文書(基本文書体裁とルール、宛名書き)</li> <li>・ビジネスメール</li> <li>・ビジネス用語</li> </ul> <p>【知識】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年金、税、保険</li> <li>・組織(役職)と部門</li> <li>・慶弔</li> <li>・その他社会人として必要な知識</li> </ul> <p>ロールプレイ等を交えた実践的内容となると良い。</p>				
成績評価 方法	評価試験には期末試験の他、演習試験や小テストを含みます。				
成績評価 基準	A: 評価試験 80 点以上、出席率 85%以上、平常点優 B: 評価試験 70 点以上、出席率 70%以上、平常点良 C: 評価試験 50 点以上、出席率 60%以上、平常点可 D: 評価試験 50 点未満、出席率 60%未満、平常点不可				

## 学生へのメッセージ



## シラバス(授業計画)

科目名	脳力開発Ⅰ・Ⅱ			科目区分	共通科目
対象	昼間部全学科全コース			授業形式	演習
実施期	2年 前期・後期	単位数	前期：1単位 後期：1単位	時間数	前期：15時間 後期：15時間
担当	住友 大我				
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無	トレーナー業、近年はトレーナー育成業を中心に約20年の実務経験があります。			
授業概要	心身ともに健康な状態で社会人として長く活躍できるよう、メンタルトレーニングを中心に脳の働き(脳力)を高める方法を学びます。				
到達目標	緊張からリラックス・集中への反射を形成する、ストレス耐性を高める、モチベーションを高める、発想力を高める、ポジティブシンキングを身に付けるなどの内容を、脳の働き(脳力)にもとづいて理解する。				
検定資格	なし ・ 必修 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 任意 名称：メンタルウェルネストレーニング基礎課程				
教科書 教材	授業用教材セット				
授業計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ メンタルトレーニング 思い方の練習(期待感と満足感を高める) 段階的リラクゼーション法(緊張からリラックスへの反射形成) 自律訓練法(リラックスした集中への反射形成)</li> <li>・ ビジントレーニング 情報処理能力の向上(脳活ドリル、他) イメージ力、思考力の向上</li> <li>・ 脳力を発揮するための生活習慣 睡眠に関連する内容(疲労回復、記憶力、発想力など) 運動、食事に関連する内容、他</li> <li>・ その他 自己分析(エゴグラム) メンタルヘルスに関連する内容(ストレスマネジメント、他) 能力発揮に関連する内容(目標設定、モチベーション、他)</li> </ul>				
成績評価 方法	試験、出席率、平常点(提出物・授業態度など)の組み合わせで評価します。 詳細は、各期の初回授業で説明します。				
成績評価 基準	【試験】A: 80点/ %以上、B: 70点/ %以上、C: 50点/ %以上、D: 50点/ %未満 【出席率】A: 100%、B: 80%以上、C: 60%以上、D: 60%未満 【平常点】A: 優、B: 良、C: 可、D: 不可				

## 学生へのメッセージ

後期の授業内でメンタルトレーニングの検定試験を実施する予定です。  
合格した場合は、保有資格としてプロフィールなどに記載することが出来ます。  
なお、受検料は発生しません。

## シラバス(授業計画)

科目名	Let's Speak English III・IV			科目区分	共通科目
対象	昼間部全学科全コース			授業形式	演習
実施期	2年 前期・後期	単位数	前期：1単位 後期：1単位	時間数	前期：15時間 後期：15時間
担当	語学担当講師				
	実務経験：有・ <input type="checkbox"/> 無				
授業概要	Anyone can speak English with foreigners with some effort. Simple key sentences and concepts are practiced through conversation, listening, and activities. Classes are divided by level, but all classes are taught in English only, with a native English speaker.				
到達目標	Communication in simple English about everyday topics. Students will be able to communicate with people from different countries and cultures.				
検定資格	なし・必修・任意 名称:				
教科書 教材	Speak Now Level 1 Student Book (Oxford)				
授業計画	<p>【My Hometown】 Asking about &amp; describing places, asking for &amp; giving suggestions, asking for &amp; giving directions.</p> <p>【Shopping】 Prices &amp; features, bargaining, frequency</p> <p>【Food】 Quantities, needs, eating habits, describing food</p> <p>【Past &amp; Future】 Talking &amp; asking about past events, introducing &amp; reacting to news, future plans</p>				
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	<p>A: 評価試験(理解度)80%以上、出席率 90%以上、平常点優</p> <p>B: 評価試験(理解度)60%以上、出席率 80%以上、平常点良</p> <p>C: 評価試験(理解度)50%以上、出席率 60%以上、平常点可</p> <p>D: 評価試験(理解度)49%以下、出席率 60%未満、平常点不可</p>				

Message to students:

Don't be shy! Do your best!  
Use this great chance to practice speaking as much as possible in a small group.

キャビンアテンダントコース

専門科目

## シラバス(授業計画)

科目名	English Communication III・IV		科目区分	専門科目
対象	エアライン科 キャビンアテンダントコース・エアポートサービスコース・エアポートカーゴコース		授業形式	演習
実施期	2年 前期・後期	単位数	前期 : 1 単位 後期 : 1 単位	時間数 前期 : 30 時間 後期 : 30 時間
担当	Native teacher			
	実務経験 : 有・ <input type="checkbox"/> 無			
授業概要	Students will practice speaking, listening & reading skills on a broad range of topics.			
到達目標	The students will build on the English skills they gained in the first year, with the emphasis on communication skills.			
検定資格	<input type="checkbox"/> なし・必修・任意 名称:			
教科書 教材	Stretch 2 Student Book with Online Practice (Oxford university Press)			
授業計画	<p>【Hobbies】 - Free time hobbies</p> <p>【Clothes &amp; colors】 - Shopping for clothes, comparatives</p> <p>【An active life】 - Sports and exercise</p> <p>【Getting around】 - Transportation &amp; schedules</p> <p>【Personality】 - Personality traits, meeting people</p> <p>【Cooking】 - Recipes &amp; instructions</p> <p>【Weather】 - Weather types, climates, superlatives</p> <p>【Everyday activities】 - Daily activities, past continuous</p> <p>【Math, history, and art】 - School subjects, important subjects</p> <p>【A busy semester】 - How to succeed, present perfect</p> <p>【Favors and requests】 - Asking for favors, asking for help</p> <p>【Before you travel】 - Preparing for trips</p>			
成績評価 方法	下記評価基準に基づく			
成績評価 基準	A: 評価試験 80 点以上、出席率 80%以上、平常点 優 B: 評価試験 70 点以上、出席率 80%以上、平常点 良 C: 評価試験 60 点以上、出席率 60%以上、平常点 可 D: 評価試験 60 点未満、出席率 60%未満、平常点 不可			

### 学生へのメッセージ

Don't be shy! Do your best!

## シラバス(授業計画)

科目名	Airline English II・III		科目区分	専門科目
対象	エアライン科 キャビンアテンダントコース・エアポートサービスコース・エアポートカーゴコース		授業形式	演習
実施期	2年 前期 後期	単位数	前期：1単位 後期：1単位	時間数 前期：15時間 後期：15時間
担当	語学担当講師			
	実務経験：有・ <input type="checkbox"/> 無			
授業概要	Students will learn airline-related vocabulary and phrases, practice them in role-plays and memorize them.			
到達目標	Further develop students' English language skills for airline related situations and build confidence in communicating in English.			
検定資格	<input type="checkbox"/> なし・必修・任意 名称:			
教科書 教材	Airline English (オリジナルテキスト)			
授業計画	<p>Airport security check conversation</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ Prohibited items ・Security check ・Security inspection (hand luggage/ body, etc.)</li> </ul> <p>Duty free conversation</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ Duty free items limits/ Landing document ・Payment method ・inflight shopping</li> </ul> <p>Boarding gate English</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ Announcements and instructions</li> </ul> <p>Preparation for oral test</p> <p>【Inflight conversations】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ Preflight safety instructions</li> <li>➤ Inflight amenities and services</li> <li>➤ Inflight meal and drink service</li> <li>➤ Inflight shopping and currency</li> <li>➤ Inflight problems (illness and emergency situations)</li> </ul> <p>Preparation for oral test</p>			
成績評価 方法	Test (written and oral), attendance, in class attitude and effort			
成績評価 基準	<p>A: 評価試験(理解度)80%以上、出席率90%以上、平常点優</p> <p>B: 評価試験(理解度)60%以上、出席率80%以上、平常点良</p> <p>C: 評価試験(理解度)50%以上、出席率60%以上、平常点可</p> <p>D: 評価試験(理解度)50%未満、出席率60%未満、平常点不可</p>			

### 学生へのメッセージ

## シラバス(授業計画)

科目名	TOEIC Advanced 対策Ⅲ・Ⅳ			科目区分	専門科目
対象	エアライン科キャビンアテンダントコース			授業形式	講義
実施期	2年 前期・後期	単位数	前期：3単位 後期：1単位	時間数	前期：45時間 後期：30時間
担当	小野寺 和子				
	実務経験：有・ <input type="checkbox"/> 無				
授業概要	英語によるコミュニケーション能力評価する世界の共通テストである。 現在ほとんどの企業は TOEIC スコア保持者を採用条件として設定している。				
到達目標	航空会社の場合は 600 点～700 点を最低条件とする、その目標スコア獲得する。 さらにハイスコアを在学中に取得し、付加価値をつけて就職を有利にする。				
検定資格	なし・必修・ <input type="checkbox"/> 任意 名称: TOEIC				
教科書 教材	国際ビジネスコミュニケーション協会発刊の公式問題集から配布資料を作成しテキストとする。Listening は発話者のクセに慣れるように徹底的に聞き取り練習を実施。 1 年次購入の effective Approaches to Grammar & Reading on the TOEIC Test (ASAHI PRESS)も併用する				
授業計画	<p>【Listening 演習】 写真描写問題／応答問題 公式問題集を使用して演習問題を反復</p> <p>【Listening 演習】 会話問題／説明文問題</p> <p>【Reading 演習】 短文穴埋め問題／長文穴埋め問題</p> <p>【Reading 演習】 読解問題／1つの問題／2つの問題</p>				
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A: 評価試験(理解度)80%以上、出席率 80%以上、平常点 優 B: 評価試験(理解度)70%以上、出席率 80%以上、平常点 良 C: 評価試験(理解度)40%以上、出席率 60%以上、平常点 可 D: 評価試験(理解度)40%未満、出席率 60%未満、平常点 不可				

## 学生へのメッセージ

卒業時までには目標スコア達成を！！ Practice Makes Perfect!!

## シラバス(授業計画)

科目名	国内観光地理Ⅰ・Ⅱ		科目区分	専門科目
対象	エアライン科 キャビンアテンダントコース・エアポートサービスコース・エアポートカーゴコース		授業形式	講義
実施期	2年 前期・後期	単位数	前期：1単位 後期：1単位	時間数 前期：15時間 後期：15時間
担当	松川 信也 実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無 元添乗員、旅行コンサルティング会社経営。総合旅行業務取扱管理者。			
授業概要	空港での業務でも、日本国内のさまざまな地方から来た旅客と出会う。また日本人として観光の専門学校を卒業する以上、知っておいてほしい国内の観光地理の知識がある。当授業では、前半で基礎的な日本の観光地を学習し、後半では観光要素を交えた空港に関する知識を学習する。			
到達目標	① 日本の有名観光資源について、基本的情報を説明できる。 ② 日本国内および一部海外の空港に関する観光要素を説明できる。			
検定資格	<input checked="" type="checkbox"/> なし ・ 必修 ・ 任意 名称：			
教科書 教材	なし(配付プリント対応)			
授業計画	<p>I. 【2024 国内旅行の動向把握】 コロナ騒ぎの終結後の、講師が独自の観点で分析した 2024 年の国内旅行の動向を数点プレゼンテーションする。空港で出会うお客様とのコミュニケーション、あるいは自身が旅行する際の基礎知識を身につける。</p> <p>II. 【日本の美しい風景】 基本中の基本となる国内の 47 都道府県と県庁所在地を把握した後、パワーポイントやDVDを利用し、日本国内の主要観光地情報を把握する。</p> <p>III. 【日本の世界遺産】 ここ数年毎年のように新規「世界遺産」が日本に誕生し、観光振興に一役買っている。国内に存在する「世界遺産」25 か所をまとめて学習する。パワーポイント画像使用。</p> <p>IV. 【空港の観光要素把握】 空港とは旅行の始まる出発点であり、既に観光要素を併せ持っている。それらを学習しながら空港での旅客の動きに注目して必要知識の習得を目指す。</p>			
成績評価 方法	前期、後期とも各パートごと終了時に小テスト(平常点としてカウント)、期末に評価試験を実施する。欠席は0点扱いとなるので注意。各期とも、評価試験、出席率、平常点の総合評価とする。			
成績評価 基準	A: 評価試験 80 点以上、かつ 出席率 80%以上、かつ 平常点優 B: 評価試験 60 点以上、かつ 出席率 60%以上、かつ 平常点良以上 C: 評価試験 40 点以上、かつ 出席率 60%以上、かつ 平常点可以上 D: 評価試験 40 点未満、または 出席率 60%未満、または 平常点不可			

## 学生へのメッセージ

週に1回、空港の専門科目から離れて、折角観光の専門学校に来た皆さんに国内旅行の楽しさを学んでいただきます。ぜひ皆さんにも、日本人として国内旅行の楽しさを体得してください。

## シラバス(授業計画)

科目名	パソコンスキルⅡ・Ⅲ		科目区分	専門科目
対象	エアライン科 キャビンアテンダントコース・エアポートサービスコース・エアポートカーゴコース		授業形式	演習
実施期	2年 前期・後期	単位数	前期：1単位 後期：1単位	時間数 前期：15時間 後期：15時間
担当	宮崎 愛子			
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無	パソコン講師として実務経験あり。		
授業概要	現代社会において、仕事上PC操作は必須です。1年時の学習を踏まえて実践力を習得する。ワードではビジネス文書作成、エクセルでは基本関数およびグラフによるデータの視覚化とデータ分析力を修得する。また、パワーポイント操作ではプレゼンテーション資料の作成を修得する。			
到達目標	ワード・エクセルを含めたPC操作の基本を理解し、ビジネス文章の作成や、データからグラフ作成・データベース操作、パワーポイントを利用したプレゼンテーション資料が作成できるようにする。			
検定資格	なし ・ 必修 ・ <u>任意</u> 名称: 日本語ワープロ検定・マイクロソフトオフィススペシャリスト(MOS)検定			
教科書教材	「30時間アカデミック情報リテラシー Office2016」(実教出版) ※1年時の教科書を使用します			
授業計画	<p>【PC基本操作の確認】 1年時に学習したキーボードを利用しての入力練習(英数字・かな・漢字変換・文字の修正)、ワープロソフトを使い文章入力を復習する。 ホームポジションを意識した入力を実施する。</p> <p>【ワード基本作業】 文章入力練習を行う。 ワードアート・図形描画を利用した表現力のある文書作成を行う。 ビジネス文書の基礎や仕組みを学び、手書き問題からビジネス文書を作成する。(表作成含む)</p> <p>【パワーポイント基本作業】 操作方法を学習し、プレゼンテーション資料を作成する。(20分で1枚程度作成を目標とする。)</p> <p>【エクセル基本作業】 データ入力の基本を学ぶ。 データ入力の基本を理解し、関数を利用した表計算機能やデータベース操作を学習する。 データを利用してグラフ作成を行い、視覚的分析力の方法を学ぶ。</p>			
成績評価方法	※平常点は、授業への参加度や授業態度などを加味して20点満点とし、上記評価点数に組み込まれる。 ※ワード、エクセル共に、文書作成を課題として提出する。			
成績評価基準	A: 評価試験 80点以上、出席率 80%以上、課題提出、平常点 15点以上優 B: 評価試験 70点以上、出席率 70%以上、課題提出、平常点 10点以上良 C: 評価試験 50点以上、出席率 60%以上、課題提出、平常点 5点以上可 D: 評価試験 50点未満、出席率 60%未満、課題未提出、平常点 5点未満不可			

## 学生へのメッセージ

スマートフォンが1台あれば何でもできてしまう時代のため、「パソコンが苦手」と公言する方も少なくありません。しかし、仕事をする上でパソコン操作は必須です。就職してから困らないように、前向きに学習しましょう。



シラバス(授業計画)

科目名	手話講座Ⅲ・Ⅳ		科目区分	専門科目
対象	エアライン科 キャビンアテンダントコース・エアポートサービスコース・エアポートカーゴコース		授業形式	演習
実施期	2年 前期・後期	単位数	前期：1単位 後期：1単位	時間数 前期：15時間 後期：15時間
担当	担当講師			
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無	手話通訳士		
授業概要	ユニバーサルサービスとして接客における手話を身に着ける。前期は4級の単語学習を中心におこない、後期は会話練習などを行う。聴覚障がいの基礎知識について学び、聴覚障がいをお持ちのお客様に対して手話などの方法でコミュニケーションがとれるようにする。			
到達目標	2年次においては手話検定4級レベルを目指す。			
検定資格	なし・必修・ <input checked="" type="checkbox"/> 任意 名称:手話技能検定4級			
教科書 教材	手話技能検定公式テキスト3・4級 (日本能率協会マネジメントセンター)			
授業計画	<p>【日常生活に必要な基本を学習Ⅰ】 あいさつ・天候・疑問・数字・日にち・時間・家族・色・方角・感情・動作・自然・仕事などを学習する。</p> <p>【日常生活に必要な基本を学習Ⅱ】 食べ物・動物・スポーツ・趣味・乗り物・形容詞・副詞・施設・地名・接客手話などを学習する。</p> <p>【日常生活に必要な基本を学習Ⅲ】 ロールプレイなどで日常会話や接客手話を学習する。また検定対策に向けて過去問題の学習を行う。 ろう者のゲストを呼び時、実際に手話を使って交流を行う</p> <p>【聴覚障がいの基礎知識】 聴覚障害者とは、日本手話と日本語対応手話、聴覚障害者数、コミュニケーションの多様性とその実践、聴覚障害者と法律・条例、耳の構造と補聴器、さまざまなマーク、ろう文化とは</p>			
成績評価 方法	授業内におこなう実技試験と期末試験、出席率、授業態度を総合的に評価します。			
成績評価 基準	<p>A: 評価試験 80 点以上、出席率 80%以上、平常点優</p> <p>B: 評価試験 60 点以上、出席率 70%以上、平常点良</p> <p>C: 評価試験 40 点以上、出席率 60%以上、平常点可</p> <p>D: 評価試験 40 点未満、出席率 60%未満、平常点不可</p>			

学生へのメッセージ

## シラバス(授業計画)

科目名	韓国語 Ⅲ・Ⅳ		科目区分	専門科目
対象	エアライン科 キャビンアテンダントコース・エアポートサービスコース・エアポートカーゴコース		授業形式	講義
実施期	2年 前期・後期	単位数	前期：1単位 後期：1単位	時間数 前期：30時間 後期：30時間
担当	渡部 茂			
	実務経験：有・無			
授業概要	教科書の各場面設定の例文をなぞることで文字書きにも慣れ、「パターン化」した例文のシャドーイングを反復練習する。			
到達目標	一年次で学んできた韓国語の約束事を各場面・状況に応用し、日本語のように「自分自身の語彙と表現」で、より高度な複文の発話運用が出来るようになること。			
検定資格	なし・必修・任意 名称：ハングル検定（日本主催）、韓国語能力試験（韓国主催）			
教科書教材	「例文をなぞって覚える 場面別会話集」 渡部 茂 著			
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 基本的な会話 一日の挨拶、何を召し上がりますか、こちらへどうぞ 等</li> <li>2. 日常会話 「ITHB学校」はどこですか、ITHB学校で何を学んでいますか 等</li> <li>3. 旅行・観光 機内にお忘れ物が無いように、お飲み物はいかがですか、酸素マスクの説明書もあります 等</li> <li>4. ホテル滞在 部屋を予約したいのですが、少々お待ち頂けますか調べてみます、非常口はどちらに行けば 等</li> <li>5. 飲食会話 この近くに美味しい食堂はありますか、友達二人が遅れて来ます、窓側の禁煙席をお願いします 等</li> <li>6. 交通・乗り物 「ITHB学校」まで行って下さい、千葉駅はどこですか、友達と隣の席にして欲しい 等</li> <li>7. ショッピング プレゼントを買いたいのですが、サイズがもっと大きい物を見せて下さい、試着室はどこですか 等</li> <li>8. 美容・エステ・整形 垢すりに行かない、キュウリパックをお願いします、明るい色に染めてみようかな 等</li> <li>9. 看病・介護・病気 コロナ肺炎には気を付けなくてはね、病院で注射を打ってもらいました、どのくらいで良くなりますか 等</li> <li>10. 感情表現 胸がいっぱいです、もう少し考えさせてくれる、私の話し最後まで聞いてよ、あれ 恥ずかしいな 等</li> <li>11. 人生の出来事 結婚おめでとうございます、余りに感動して涙が出ました、ウェディングドレス姿がとても素敵です 等</li> <li>12. スマホ・パソコン この場所電波が悪いな、ハングルの入力の方法が分かりません、アドレス教えてくれる 等</li> </ol>			
成績評価方法	出席の状況並びに積極的な授業参加の意欲・姿勢等 各単元整理の演習小テストの理解度			
成績評価基準	A: 出席率 80%以上、評価試験（理解度）80%以上、 B: 出席率 70%以上、評価試験（理解度）70%以上、 C: 出席率 60%以上、評価試験（理解度）60%以上、 D: 出席率 60%未満、評価試験 受験不可			

### 学生へのメッセージ

外国語はただ読めるだけで終わらせず、自分の言葉で自己主張が出来る発信がポイントである。今後のグローバル化の進展の中で、コミュニケーション道具の一部と認識し、就職活動中や内定後であっても、ペースダウンすることなく、積極的に授業参加に努めて欲しい。将来の労働力不足傾向の日本社会の現状をふまえ、自己発信力として活用することで、自己存在の確立を高める姿勢が重要だ。

シラバス(授業計画)

科目名	中国語Ⅲ・Ⅳ		科目区分	専門科目
対象	エアライン科 キャビンアテンダントコース・エアポートサービスコース・エアポートカーゴコース		授業形式	講義
実施期	2年 前期・後期	単位数	前期：1単位 後期：1単位	時間数 前期：30時間 後期：30時間
担当	張翼飛			
	実務経験：有・ <input type="checkbox"/> 無			
授業概要	この授業は1年の発音と基本文法を学習後の応用コースです、主に初歩的な表現とその応用を中心に行い、特に空港もしくは空港関連する職場で使う会話を取り入れたいです。			
到達目標	空港でよく使う中国語フレーズを会話できるように。			
検定資格	なし・必修・ <input type="checkbox"/> 任意 名称:中国語検定試験			
教科書 教材	中国語初歩の初歩（高橋書店） 講師作成プリントに基づき学習します。			
授業計画	<p>【中国語の概要】 ピンインと四声の復習 基本の挨拶と呼びかけ 出会いと別れの挨拶</p> <p>【空港で使える中国語を学習】 チェックイン編 出国編 免税編 搭乗編 機内編</p> <p>【空港で使える中国語の会話練習】 空港で搭乗口の場所を教える時に使う中国語 空港で荷物の重さ制限の説明する時に使う中国語 空港で危険物を尋ねる時に使う中国語</p> <p>【テストと復習】 テストと復習</p>			
成績評価 方法	下記評価基準に基づく			
成績評価 基準	<p>A: 評価試験(理解度)80%以上、出席率80%以上、平常点 優</p> <p>B: 評価試験(理解度)70%以上、出席率70%以上、平常点 良</p> <p>C: 評価試験(理解度)40%以上、出席率60%以上、平常点 可</p> <p>D: 評価試験(理解度)40%未満、出席率60%未満、平常点 不可</p>			

学生へのメッセージ

<p>中国語を習得してから、日常生活楽しいこともひとつ増えますし、就職も役に立ちますし、自信もついて来ますし、ぜひ中国語授業を楽しんでください。</p>
--

## シラバス(授業計画)

科目名	航空機研究		科目区分	専門科目
対象	エアライン科 キャビンアテンダントコース・エアポートサービスコース・エアポートカーゴコース		授業形式	講義
実施期	2年 前期	単位数	前期：1単位	時間数
担当	逢坂 理恵			
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> ・無	航空貨物取扱企業にて職員教育担当の実務経験あり。現在も航空貨物取扱企業勤務。		
授業概要	航空業界で働くための基礎となる知識、特に航空機とその周囲で働くスタッフについて学びます。また航空機の事故事例から“空の安全”について考え、将来の職場でも安全に対し意識をもって仕事ができるように、安全の重要性を学びます。			
到達目標	航空会社業務への理解を深める。 航空業界の責任について学ぶ			
検定資格	<input type="checkbox"/> ・必修・任意 名称:			
教科書 教材	講師作成教材			
授業計画	<p>【航空機の歴史と原理】 航空機や航空会社の成り立ち、航空機の種類と構造 航空機が離陸するためにかかる力と原理</p> <p>【航空機の整備と機体構造】 整備業務と資格要件 機体の部位と機種ごとの違い</p> <p>【航空機を囲む人々と作業】 航空機が出発するまでの流れと携わるスタッフ 航空機の周囲で使用される支援機材</p> <p>【航空機の安全/全体復習】 バランスの重要性と航空機事故の紹介 まとめ</p>			
成績評価 方法	学期末に行う評価試験、出席状況と授業参加意欲により評価される。 (評価試験は欠席の場合、0点として取り扱う)			
成績評価 基準	A: 評価試験(理解度)90%以上、出席率90%以上、平常点 優 B: 評価試験(理解度)70%以上、出席率80%以上、平常点 良 C: 評価試験(理解度)40%以上、出席率60%以上、平常点 可 D: 評価試験(理解度)39%以下、出席率60%未満、平常点 不可			

## 学生へのメッセージ

航空業界を目指す上で必要な知識が満載です。飛行機の仕組み、航空業界の仕事について学びながら、就職活動や就職後の仕事にも活かせる知識を学んでいきましょう。半年間、よろしくお願いいたします。

## シラバス(授業計画)

科目名	エアライン受験対策Ⅱ		科目区分	専門科目
対象	エアライン科 全コース		授業形式	演習
実施期	2年 前期	単位数	前期 : 1 単位	時間数
担当	須田 礼美			
	実務経験 : <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無	エアライン業界にて地上職及び客室乗務員として実務経験あり。		
授業概要	面接試験の本番に向けて、自覚と自信を強めるための講座です。 1年次に学習し練習を重ねた内容を再確認しながら、面接の種類によってアプローチの方法を変え、業種や企業ごとに過去問題を使用して本番に備えていきます。フラッシュカードを使って質疑応答の際に必要な瞬発力を鍛え、受け応えの様子を撮った動画を見ながら、自分自身を客観的に分析し必要な部分を改善していきます。			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○緊張している自分を客観視できるようになる。</li> <li>○本来の自分らしさを損なうことなく自己表現できるようになる。</li> <li>○自信を持って、自分らしく面接試験の本番に臨むための準備を整える。</li> </ul>			
検定資格	<input type="checkbox"/> なし ・ 必修 ・ 任意 名称:			
教科書 教材	適宜プリント配布			
授業計画	<p>① 導入 : 一年次の復習及び進捗状況の確認 (自己分析・企業研究・ESに関する個々の進捗状況及び進路変更等を個別に確認)</p> <p>② 模擬面接 : 面接の種類とそれぞれの目的・流れ・チェックポイント等の説明 (オンライン・グループ・個人・グループワーク/ディスカッションなど) 企業や業種ごとに分かれ、過去問を使って質疑応答練習 過去に出題されたテーマで、時間を計ってディスカッション練習</p> <p>③ 模擬面接 : ペアワーク 進捗状況が近い者同士でペアを組み、フラッシュカードで瞬発力を鍛える 質疑応答の様子を互いに動画撮影し合い、改善点を探す</p> <p>【適宜対応】 個々の進捗状況や企業の募集時期に応じて、エントリーシートの添削・個人指導</p>			
成績評価 方法	評価試験・自己PR/志望動機の進捗状況・出席状況・授業参加意欲(平常点)の総合評価で判断する			
成績評価 基準	<p>A : 評価試験 90%以上、出席率 90%以上、平常点 優</p> <p>B : 評価試験 80%以上、出席率 80%以上、平常点 良</p> <p>C : 評価試験 70%以上、出席率 60%以上、平常点 可</p> <p>D : 評価試験 70%未満、出席率 60%以下、平常点 不可</p>			

### 学生へのメッセージ

就職活動の本質は、他者との比較や競争ではないはず  
自分自身の過去・現在・未来とじっくり向かい合い、最終的にあなた自身が納得できる就職をするために一緒に頑張りましょう

## シラバス(授業計画)

科目名	CA実務Ⅱ		科目区分	専門科目
対象	エアライン科キャビンアテンダントコース		授業形式	講義
実施期	2年 前期	単位数	前期：1単位	時間数
担当	湊 さやか			
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> ・無	エアライン業界にて客室乗務員として7年間の実務経験あり。		
授業概要	1年次のCA入門、実務Ⅰに引き続き、将来客室乗務員として働くために必要な航空業界の知識を習得します。実務Ⅱでは、サービス要員として行う機内販売で取り扱うブランド商品について学び、各国通貨での支払いの計算方法を習得します。また、航空機事故や緊急事態の事例を学習することにより、保安要員としての役割をしっかりと認識し、客室乗務員の使命を理解します。			
到達目標	①学習内容を全て理解し、習得する。 ②客室乗務員の使命を理解したうえで、その遣り甲斐への意欲を新たにする。			
検定資格	<input type="checkbox"/> なし・必修・任意 名称:			
教科書 教材	なし(プリント配布)			
授業計画	<p>【VISA/乗り継ぎ】 VISAの種類 乗り継ぎにおける出入国審査と税関</p> <p>【各国通貨/免税品】 世界の通貨について 機内販売での通貨計算 ブランドとその特徴</p> <p>【危険物】 危険物の種類とカテゴリー</p> <p>【保安要員/緊急時対応】 機内の違反行為について ハイジャック 航空機事故の事例 安全対策</p> <p>【期末テスト】</p>			
成績評価 方法	授業への参加意欲 期末テスト			
成績評価 基準	A: 評価試験(理解度)80%以上、出席率90%以上、平常点優 B: 評価試験(理解度)70%以上、出席率80%以上、平常点良 C: 評価試験(理解度)60%以上、出席率60%以上、平常点可 D: 評価試験(理解度)60%未満、出席率60%未満、平常点不可			

## 学生へのメッセージ

--

## シラバス(授業計画)

科目名	美育Ⅲ			科目区分	専門科目
対象	エアライン科キャビンアテンダントコース			授業形式	演習
実施期	2年 前期	単位数	前期 : 1 単位	時間数	前期 : 15 時間
担当	湊 さやか				
	実務経験 : <input checked="" type="checkbox"/> ・ 無	エアライン業界にて客室乗務員として7年間の実務経験あり。			
授業概要	客室乗務員には、心と身体の強さと美しさが求められます。この授業では、教室の枠にとらわれず様々な課題にチャレンジすることにより、感性豊かな心、好奇心、強い精神力、教養、体力、柔軟性など、みなさんの内面の「美」を育てます。駅伝では、チームのために自分のベストを尽くすことの素晴らしさを経験してください。また、CA 採用試験に合わせて、受験対策も随時行います。				
到達目標	①体力と精神力の向上 ②表現力を豊かにする ③CA 採用試験の準備を整える				
検定資格	<input type="checkbox"/> ・ 必修 ・ 任意 名称:				
教科書 教材	なし				
授業計画	<p>【読書(感性)】 課題文章を読み、感じたことをことばで表現する</p> <p>【座禅(精神)】 座禅の実践 心の整え方を学ぶ</p> <p>【ランニング(体力)】 駅伝出場に向けたトレーニング。持久力と忍耐力を養う</p> <p>【CA 受験対策】 エントリーシートの作成および添削 面接練習</p>				
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A: 評価試験(理解度)90%以上、出席率 90%以上、平常点優 B: 評価試験(理解度)80%以上、出席率 80%以上、平常点良 C: 評価試験(理解度)70%以上、出席率 70%以上、平常点可 D: 評価試験(理解度)70%未満、出席率 70%未満、平常点不可				

## 学生へのメッセージ

--

## シラバス(授業計画)

科目名	観光英検対策Ⅰ・Ⅱ		科目区分	専門科目
対象	エアライン科キャビンアテンダントコース・エアポートサービスコース		授業形式	講義
実施期	2年 前期・後期	単位数	前期：1単位 後期：1単位	時間数 前期：15時間 後期：15時間
担当	担当講師			
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> ・ 無	旅行業界にて英語を使用した旅程管理実務経験あり。		
授業概要	<p>観光英語検定は、業界専門用語や独特の言い回しなど、「業務遂行に必要な英語力を持ったプロフェッショナル」を育成するべく、全国語学ビジネス観光教育協会の専門学校を中心に、業務の基礎的技術の向上を目的として実施される検定です。</p> <p>この検定の主旨に沿い、試験に出題される表現を中心に、旅行や観光に関連する専門用語、慣用表現等を、サービス提供者および旅行者の視点で学びます。</p> <p>過去問題を使用します。</p>			
到達目標	<p>観光英検3級の取得。 あるいは、協会で設定する3級ないし2級レベルの英語力の習得。 (検定レベルは全国語学ビジネス観光教育協会 HP <a href="https://kanko.zgb.gr.jp">https://kanko.zgb.gr.jp</a> を参照)</p>			
検定資格	なし・必修・ <input checked="" type="checkbox"/> 任意 名称: 観光英語検定3級または2級			
教科書 教材	適宜プリント配布			
授業計画	<p>【 頻出表現および会話 】 空港・出入国 / 交通機関 / 宿泊 / 観光 / 買い物 / 病院 / ほか、実際の場面を想定したもの</p> <p>【 長文読解 】 ツアーのブローチャー / 観光地の案内文</p> <p>【 文化・地理・歴史 】 検定試験に出題される可能性がある知識</p>			
成績評価 方法	出席率、授業態度、意欲、評価試験			
成績評価 基準	<p>A: 評価試験(理解度)80%以上、かつ出席率80%以上、かつ平常点 優</p> <p>B: 評価試験(理解度)60%以上、または出席率70%以上、または平常点 良</p> <p>C: 評価試験(理解度)40%以上、または出席率60%以上、または平常点 可</p> <p>D: 評価試験(理解度)40%未満 または 出席率60%未満 または 平常点 不可</p>			

## 学生へのメッセージ

観光英語検定は、筆記・リスニングともに、旅行・観光に絞られた出題です。出題の傾向は空港、ホテル、観光、ショッピングなどの実際場面を想定したのですが、観光に必須の地理・歴史の知識も問われます。英語が得意な方も、ちょっと苦手だなという方も、旅行を楽しむ気持ちで一緒に学びましょう。



## シラバス(授業計画)

科目名	ワイン入門			科目区分	専門科目
対象	エアライン科キャビンアテンダントコース			授業形式	講義
実施期	2年 前期	単位数	前期：1単位	時間数	前期：15時間
担当	松平 和宏				
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無	ホテル業界にて料飲部門(宴会・バー)実務経験あり。			
授業概要	「空飛ぶソムリエ」としての役割と仕事を理解し、基礎的なワインの知識を学ぶ				
到達目標	エアラインに必要な、ワインに関する基礎的な知識の習得				
検定資格	<input type="checkbox"/> なし				
教科書 教材	※配布資料有 日本ソムリエ協会 教本より抜粋				
授業計画	<p>【酒類概論とワイン概論】 5コマ 酒税法による分類それぞれの特徴を理解する。 ぶどうの原料や製造方法による味わいの違いなど</p> <p>【ワインのサービスとテイasting理論】 4コマ 白、赤、ロゼ、スパークリングそれぞれのワインのサービス法 ワインテイastingの目的とその方法</p> <p>【ワインに関するその他の知識】 3コマ 「空飛ぶソムリエ」としての役割と仕事 ワインと料理のマリアージュ ワインの健康法、輸入の流れなど ソムリエ(ソムリエール)の資格やワインの輸入について</p> <p>【復習、テスト】 3コマ ここまでの学習の復習と理解度のテスト</p>				
成績評価 方法	授業内にて学期末テストを実施。また、出席率、平常点(授業参加意欲)を加えた総合評価で判断。				
成績評価 基準	A: 評価試験 80%以上、出席率 90%以上、平常点優 B: 評価試験 60%以上、出席率 70%以上、平常点良 C: 評価試験 40%以上、出席率 60%以上、平常点可 D: 評価試験 40%未満、出席率 60%未満、平常点不可				

## 学生へのメッセージ

--

シラバス(授業計画)

科目名	ワールドデスティネーションズⅢ・Ⅳ		科目区分	専門科目
対象	エアライン科 キャビンアテンダントコース・エアポートサービスコース・エアポートカーゴコース		授業形式	講義
実施期	2年 前期 後期	単位数	前期：1単位 後期：1単位	時間数 前期：30時間 後期：30時間
担当	担当講師			
	実務経験：有・無 旅行業界にて旅程管理実務経験あり。現在も添乗員として勤務。			
授業概要	<p>みなさんが本校で学ぶ科目の多くは、世界地理の知識を必要とします。          本科目の目的は、2年間で、①世界の主だった渡航先や輸出入が行なわれる国々について幅広く学び、基本的な知識を身に着けること、②アマデウスやディプロマ等、他科目の学習の手助けとなること、③みなさんの興味を広げていただくこと、の3点です。          2年次では、以下について理解を深めます。          ①主に日本からの渡航者が多く訪れる箇所の特徴や魅力、気候、文化、特産品          ②日本へ空輸される物品          ③言語、文化風習、各国諸事情等          授業内容・順番は変更になる場合があります。</p>			
到達目標	世界の主要な国、都市を地図上で直ちに指し示すことができる。日本からの主だった渡航先について、文化や観光資源を理解することができる。日本への空輸品と国の特徴を結び付けて考えることができる。			
検定資格	なし・必修・任意 名称:			
教科書 教材	旅に出たくなる地図世界(帝国書院)(1年次に購入済) 世界白地図(1年次に購入済) プリント適宜配布			
授業計画	<p>【 概論 】 中米・カリブ / 南米 (1年次未履修分)</p> <p>【 オセアニア各論 】 オーストラリア / ハワイ / グアム・サイパン(概論を兼ねる)</p> <p>【 アジア各論 】 韓国 / 中国本土 / 台湾 / 香港・マカオ / ベトナム / タイ / マレーシア / シンガポール / インドネシア / フィリピン / インド 他</p> <p>【 北米各論 】 アメリカ合衆国 / カナダ</p> <p>【 中南米各論 】 メキシコ / ブラジル / ペルー / チリ / アルゼンチン</p> <p>【 ヨーロッパ各論 】 英国 / フランス / スペイン / オーストリア / スイス / ドイツ / イタリア / スカンジナビア諸国</p> <p>【 中東・アフリカ各論 】 トルコ / エジプト</p>			
成績評価 方法	評価試験、出席率、授業態度、意欲			
成績評価 基準	<p>A: 評価試験(理解度)80%以上、かつ出席率80%以上、かつ平常点 優          B: 評価試験(理解度)60%以上、または出席率70%以上、または平常点 良          C: 評価試験(理解度)40%以上、または出席率60%以上、または平常点 可          D: 評価試験(理解度)40%未満、または出席率60%未満、または 平常点 不可</p>			

学生へのメッセージ

“デスティネーションズ Destinations”とは、「旅行などの目的地」という意味です。航空会社や空港、貨物等、国際的なものに関わって活躍しようとする皆さんにとって、世界の地勢や国々に関する基本的な情報は必須です。  
 机の上で一緒に旅をしながら、世界への知識を深めましょう。  
 1年次同様、みなさんの意欲的な授業の参加を、期待します。

## シラバス(授業計画)

科目名	電話応対ベーシックⅠ・Ⅱ		科目区分	専門科目
対象	エアライン科 キャビンアテンダントコース・エアポートサービスコース・エアポートカーゴコース		授業形式	演習
実施期	2年 前期・後期	単位数	前期：1単位 後期：1単位	時間数 前期：15時間 後期：15時間
担当	岸田輝美 実務経験：有・無 電話応対・マナー講師実務経験あり。現在は、マナー会社取締役。			
授業概要	あらゆるビジネスシーンに必要な「電話応対」には、正しい日本語の使い方・基本的なビジネスマナー・様々な状況に臨機応変に対応することができるコミュニケーション能力が求められます。本授業では、実践ですぐに役に立つ、社会人として最低限に必要なスキルを身に付けていく「電話総合ビジネスマナー」を学んでいきます。			
到達目標	実践ですぐに役に立つ電話応対を学ぶ。信頼関係を築くためのコミュニケーションスキルを習得します。訓練用模擬電話機「てるコーチX」でトレーニングをして即戦力を目指す。			
検定資格	なし・必修・任意 名称: 電話応対技能検定4級			
教科書 教材	ビジネスマナーテキストブック(ビューティフルマナー株式会社出版) 前向きな言葉の作り方実践ワークブック(一般社団法人日本ベップトーク普及協会)			
授業計画	<p>【総合ビジネスマナーの概要】 社会人として必要なマナー(人を思いやる心)を「武士道」から理解する。 人間関係を支える基本マナーは「愛」を学ぶ</p> <p>【日本語の特徴】 敬語の由来、慣用句等に触れ美しい日本語の表現を学ぶ 敬語の5つの基本形を学ぶ おもてなしの表現を研究する(ステップアップ)</p> <p>【電話応対のマナー】 「正確・簡潔・丁寧・迅速」、電話応対の注意点や電話のかけ方、受け方、取り次ぎ方、常套句等、実技トレーニングをしていく</p> <p>【いろいろな場面での電話応対】 電話の第一印象であるオープニングの解説と実技トレーニング 電話の向こうの「あなた」に爽やかな余韻を残しての終話(クロージング)の解説と実技トレーニング</p> <p>【前向きな言葉を意識する】 ポジティブな言葉を使うことで自分を相手を心地良くさせ、信頼関係の構築に繋げる。言葉の選び方で相手への伝わり方が違うことを学び日々の言葉使いを意識させる。</p>			
成績評価 方法	学期末には評価試験を行う。 評価試験を欠席した場合は、0点として取り扱う。出席状況、授業参加意欲も評価される			
成績評価 基準	A: 評価試験(理解度)80%以上、出席率80%以上、平常点 優 B: 評価試験(理解度)70%以上、出席率70%以上、平常点 良 C: 評価試験(理解度)40%以上、出席率60%以上、平常点 可 D: 評価試験(理解度)40%未満、出席率60%以下、平常点 不可			

## 学生へのメッセージ

社会に出たら会社の代表として電話に出ます。あなたの応対が心地よいからこの会社をお願いしたいと言われるようにファンづくりに繋がっていきましょう。電話というツールを活かして対人とのコミュニケーションスキルを学びましょう

## シラバス(授業計画)

科目名	エクササイズⅢ・Ⅳ		科目区分	専門科目
対象	エアライン科 キャビンアテンダントコース・エアポートサービスコース・エアポートカーゴコース		授業形式	演習
実施期	2年 前期・後期	単位数	前期：2単位 後期：2単位	時間数 前期：30時間 後期：30時間
担当	北原 大輔 実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無 <input type="checkbox"/> 無 スポーツインストラクターとして実務経験あり。			
授業概要	健康維持増進のために日頃から身体を動かしておくことは必要不可欠なことであり、また、身体運動量が比較的高い職業においては、高い体カレベルを保持しておくことが望ましいと言えます。 基本的な運動を通じて精神力と敏捷性、持久性、平衡性など、はつらつとした身体をつくります。また、球技スポーツの体験を通して、健康および体力の向上を図るとともに、運動習慣を体得し、生涯に渡り運動・スポーツを実践できるようになることを目指します。加えて、コミュニケーション能力とリスペクトの精神を養うことで、社会人として必要とされる他者と協働する力を鍛えます。			
到達目標	健康づくりのための身体活動基準以上の運動・スポーツの実践 体力向上のための定期的なトレーニングの実践(自己目標の設定)			
検定資格	なし ・ 必修 ・ 任意 名称:			
教科書教材	なし、必要によりプリント用意			
授業計画	<p>【健康と体力/筋トレⅠ/「投げる」球技スポーツ/ウォーキング/】 「健康」、体力、「健康と体力の関係」について学ぶ 筋トレ、器具の使い方や効果について バスケットボールなど(競技特性・ルール)の理解と実践 ウォーキングの正しいやり方と効用</p> <p>【ストレッチング/持久カトレーニング】 ストレッチングの意義と実践 持久カトレーニングの意義と実践(持続性トレーニング)</p> <p>【筋トレⅡ/運動と安全/体力の測定と評価】 前期より負荷を挙げて筋力アップを図る 傷害の理解と予防 形態計測、筋力測定、運動能力テストの実施と評価</p>			
成績評価方法	※平常点は、授業への参加度や授業態度などを加味して20点満点とし、上記評価点数に組み込まれる。			
成績評価基準	A: 授業内期末試験 70点以上、出席率90%以上、平常点15点以上 優 B: 授業内期末試験 50点以上、出席率60%以上、平常点10点以上 良 C: 授業内期末試験 30点以上、出席率60%以上、平常点5点以上 可 D: 授業内期末試験 30点未満、出席率60%未満、平常点5点未満 不可			

## 学生へのメッセージ

--

## シラバス(授業計画)

科目名	危険物取扱講座Ⅰ・Ⅱ		科目区分	専門科目
対象	エアライン科 キャビンアテンダントコース・エアポートコース・エアポートカーゴコース		授業形式	講義
実施期	2年 前期・後期	単位数	前期：1単位 後期：1単位	時間数 前期：15時間 後期：15時間
担当	逢坂 理恵 実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無 航空貨物取扱企業にて教育担当の実務経験あり。			
授業概要	航空機に搭載する手荷物や航空貨物には、危険物とされるものが規則で定められています。危険物は取り扱いを間違えると大事故に繋がってしまうため、航空業界で働くために身に付けておくべき知識の一つです。			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・危険物の分類や危険性、ラベルを理解する・旅客手荷物に含まれる危険物を理解する</li> <li>・航空機の搭載規則を理解する・危険物規則書の見方を理解する</li> <li>・危険物申告書の作成、マーキング・ラベリングの規則を理解する・航空安全に対する意識を醸成する</li> </ul>			
検定資格	<input type="checkbox"/> なし ・ 必修 ・ 任意 名称:			
教科書 教材	講師作成教材			
授業計画	<p><b>【危険物とは】【規則と適用方法】【IATA 規則第1章～第2章】</b>          国連機関や規則の種類          規則の適用方法、例外規定          認可と適用免除、隠れた危険物          微量・少量危険物</p> <p><b>【IATA 規則第3章】【IATA 規則第7章】【IATA 規則第9章】【全体復習】</b>          分類区分のラベルやIMPコード、主な品目について          ラベリング・マーキングの種類          受託、保管、搭載に関する規則          旅客手荷物に関する規則          全体のまとめ</p> <p><b>【前期の復習】【IATA 規則第4章～第6章】</b>          前期の復習          分類・IMPコード、危険性          受託・搭載についての規則          危険物リストの見方、引き方          容器の種類と包装基準、国連規格容器</p> <p><b>【IATA 規則第7章～第8章】【全体復習】</b>          ラベリング・マーキングの表示          危険物申告書の記載内容          全体のまとめ、問題演習</p>			
成績評価 方法	学期末に行う評価試験、出席状況と授業参加意欲により評価される。 (評価試験は欠席の場合、0点として取り扱う)			
成績評価 基準	A: 評価試験(理解度)90%以上、出席率90%以上、平常点 優 B: 評価試験(理解度)70%以上、出席率80%以上、平常点 良 C: 評価試験(理解度)40%以上、出席率60%以上、平常点 可 D: 評価試験(理解度)40%未満、出席率60%未満、平常点 不可			

## 学生へのメッセージ

私たちの身の回りの物の中にも様々な種類の危険物があります。少し専門的な危険物の世界を学んでいきましょう。難しそうなお内容もわかりやすく、面白いと感じる授業にしていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

## シラバス(授業計画)

科目名	企業実習		科目区分	専門科目
対象	エアライン科キャビンアテンダントコース		授業形式	実習
実施期	2年 後期	単位数	1 単位	時間数
	後期 : 30 時間			
担当	企業担当者			
	実務経験 : <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無	各企業現場指導者より		
授業概要	航空業界企業に出向き、業務を実際の体験を通して理解する。 精神的な成長かつ技術的な成長を成し遂げて、社会に出る為の準備を目的とする。			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実践業務を学び、知識・技術の向上</li> <li>・社会人としてのマナーの習得</li> <li>・ボランティアを通じて社会情勢を理解すると共に、おもてなしや思いやりの精神を育む</li> </ul>			
検定資格	<input type="checkbox"/> なし ・ 必修 ・ 任意 名称:			
教科書 教材	なし			
授業計画	<p>&lt;企業実習内容&gt; 各企業の館内及び施設見学、航空業界全般並びに各企業ルールと共に接客時のマナーを学ぶ。</p> <p>【キャビンアテンド】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・機内サービス/アナウンス</li> <li>・接客マナー</li> </ul> <p>【グランドスタッフ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・チェックイン業務</li> <li>・接客マナー</li> </ul> <p>【グランドハンドリング】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・カーゴハンドリング業務</li> <li>・危険物取扱業務</li> </ul>			
成績評価 方法	実習報告手帳に基づく			
成績評価 基準	<p>【年間実習時間】</p> <p>R:実習修了時間 30 時間以上</p> <p>D:実習修了時間 30 時間未満</p>			

## 学生へのメッセージ

## シラバス(授業計画)

科目名	ボランティア		科目区分	専門科目
対象	エアライン科キャビンアテンダントコース		授業形式	実習
実施期	2年 後期	単位数	1 単位	時間数
	後期 : 30 時間			
担当	各ボランティア団体 担当者			
	実務経験 : <input checked="" type="checkbox"/> ・ 無	各企業現場指導者より		
授業概要	<p>・ボランティア活動を通じて、他者に尽くすことで得られる幸福感や喜びを実感し、心の豊かさを育む。 (感謝の気持ちの大切さ・共感と思いやりの醸成・自己肯定感の向上)</p>			
到達目標	<p>・他者との良好な人間関係を築くためのコミュニケーション能力とマナーの習得。 ・ボランティアを通じて社会情勢を理解すると共に、おもてなしや思いやりの精神を育む。</p>			
検定資格	<input type="checkbox"/> ・ 必修 ・ 任意 名称:			
教科書 教材	なし			
授業計画	<p>&lt;ボランティア&gt; 学校に募集がかかったボランティア活動、若しくは千葉市のボランティアネットワークを活用し、自身が参加したいボランティア活動へ参加。</p> <p>【ボランティア内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域貢献</li> <li>・ビーチクリーン</li> <li>・デイサービス</li> <li>・文化活動 他</li> </ul>			
成績評価 方法	実習報告手帳に基づく			
成績評価 基準	<p>【年間実習時間】</p> <p>R:実習修了時間 30 時間以上</p> <p>D:実習修了時間 30 時間未満</p>			

## 学生へのメッセージ

--

エアポートサービスコース

専門科目



## シラバス(授業計画)

科目名	English Communication III・IV		科目区分	専門科目
対象	エアライン科 キャビンアテンダントコース、エアポートサービスコース、エアポートカーゴコース		授業形式	演習
実施期	2年 前期・後期	単位数	前期：1単位 後期：1単位	時間数 前期：30時間 後期：30時間
担当	Native teacher			
	実務経験：有・ <input type="checkbox"/> 無			
授業概要	Students will practice speaking, listening & reading skills on a broad range of topics.			
到達目標	The students will build on the English skills they gained in the first year, with the emphasis on communication skills.			
検定資格	<input type="checkbox"/> なし・必修・任意 名称:			
教科書 教材	Stretch 2 Student Book with Online Practice (Oxford university Press) 3454 円			
授業計画	<p>【Hobbies】 - Free time hobbies</p> <p>【Clothes &amp; colors】 - Shopping for clothes, comparatives</p> <p>【An active life】 - Sports and exercise</p> <p>【Getting around】 - Transportation &amp; schedules</p> <p>【Personality】 - Personality traits, meeting people</p> <p>【Cooking】 - Recipes &amp; instructions</p> <p>【Weather】 - Weather types, climates, superlatives</p> <p>【Everyday activities】 - Daily activities, past continuous</p> <p>【Math, history, and art】 - School subjects, important subjects</p> <p>【A busy semester】 - How to succeed, present perfect</p> <p>【Favors and requests】 - Asking for favors, asking for help</p> <p>【Before you travel】 - Preparing for trips</p>			
成績評価 方法	下記評価基準に基づく			
成績評価 基準	A: 評価試験 80 点以上、出席率 80%以上、平常点 優 B: 評価試験 70 点以上、出席率 80%以上、平常点 良 C: 評価試験 60 点以上、出席率 60%以上、平常点 可 D: 評価試験 60 点未満、出席率 60%未満、平常点 不可			

### 学生へのメッセージ

Don't be shy! Do your best!

## シラバス(授業計画)

科目名	Airline English II・III		科目区分	専門科目
対象	エアライン科 キャビンアテンダントコース、エアポートサービスコース、エアポートカーゴコース		授業形式	演習
実施期	2年 前期 後期	単位数	前期：1単位 後期：1単位	時間数 前期：15時間 後期：15時間
担当	語学担当講師			
	実務経験：有・ <input type="checkbox"/> 無			
授業概要	Students will learn airline-related vocabulary and phrases, practice them in role-plays and memorize them.			
到達目標	Further develop students' English language skills for airline related situations and build confidence in communicating in English.			
検定資格	<input type="checkbox"/> なし・必修・任意 名称:			
教科書 教材	Airline English (オリジナルテキスト)			
授業計画	<p>Airport security check conversation</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ Prohibited items ・Security check ・Security inspection (hand luggage/ body, etc.)</li> </ul> <p>Duty free conversation</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ Duty free items limits/ Landing document ・Payment method ・inflight shopping</li> </ul> <p>Boarding gate English</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ Announcements and instructions</li> </ul> <p>Preparation for oral test</p> <p>【Inflight conversations】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ Preflight safety instructions</li> <li>➤ Inflight amenities and services</li> <li>➤ Inflight meal and drink service</li> <li>➤ Inflight shopping and currency</li> <li>➤ Inflight problems (illness and emergency situations)</li> </ul> <p>Preparation for oral test</p>			
成績評価 方法	Test (written and oral), attendance, in class attitude and effort			
成績評価 基準	<p>A: 評価試験(理解度)80%以上、出席率90%以上、平常点優</p> <p>B: 評価試験(理解度)60%以上、出席率80%以上、平常点良</p> <p>C: 評価試験(理解度)50%以上、出席率60%以上、平常点可</p> <p>D: 評価試験(理解度)50%未満、出席率60%未満、平常点不可</p>			

### 学生へのメッセージ

## シラバス(授業計画)

科目名	TOEIC 対策Ⅲ・Ⅳ		科目区分	専門科目
対象	エアライン科エアポートサービスコース、エアポートカーゴコース		授業形式	講義
実施期	2年 前期・後期	単位数	前期：3単位 後期：2単位	時間数 前期：45時間 後期：30時間
担当	岡野恵美子			
	実務経験：有・ <input type="checkbox"/> 無			
授業概要	TOEIC のスコアをさらにアップさせるために、問題演習を通じて英語力の弱点を見つけ、その補強をします。中でも問題数の多いリスニングセクションの Part3 と Part4、リーディングセクションの Part7 の正答数を増やすための集中演習を行います。			
到達目標	1 年次 TOEIC スコアより 100 点アップ			
検定資格	なし・ <input checked="" type="checkbox"/> 必修・任意 名称: TOEIC			
教科書 教材	TOEIC L&R テスト書き込みドリルスコア 650「全パート標準編」 桐原書店 TOEIC L&R 公式ポキャブラリーブック 国際ビジネスコミュニケーション協会			
授業計画	<p>【リーディング Part5&amp;6 対策】 テキスト及び各種問題集を使用した問題演習 頻出文法の定着と単語テストによる語彙力強化</p> <p>【リーディング Part7 対策】 テキスト及び各種問題集を中心とした長文読解演習</p> <p>【リスニング Part1&amp;2 対策】 テキスト及び各種問題集を使用した写真問題と応答問題の演習</p> <p>【リスニング Part3&amp;4 対策】 テキスト及び各種問題集を使用した会話文と説明文の問題演習</p>			
成績評価 方法	毎週のチェックテストに加え、TOEIC 受験直前には模擬試験を実施し、平常点に加点します。また学期末には評価試験を行い、出席率、TOEIC スコアと共に総合的に判断します。			
成績評価 基準	A: 評価試験(理解度)80%以上、出席率 80%以上、平常点 優 B: 評価試験(理解度)60%以上、出席率 70%以上、平常点 良 C: 評価試験(理解度)40%以上、出席率 60%以上、平常点 可 D: 評価試験(理解度)40%未満、出席率 60%未満、平常点 不可			

### 学生へのメッセージ

## シラバス(授業計画)

科目名	TOEIC 対策Ⅲ・Ⅳ		科目区分	専門科目
対象	エアライン科エアポートサービスコース・エアポートカーゴコース		授業形式	講義
実施期	2年 前期 後期	単位数	前期 : 3 単位 後期 : 2 単位	時間数 前期 : 45 時間 後期 : 30 時間
担当	日隈 敬子			
	実務経験 : 有・ <input type="checkbox"/>			
授業概要	TOEIC には英語能力だけではなく、時間の使い方や技術が必要になってきます。このクラスでは1年生で固めた文法やリスニング力を上手いにかせるよう、常に時間に意識しながら問題をこなしていきます。英語の語彙力向上と共に、TOEIC のスコアアップ、さらには本物の英語力を身につける事を目指します。出来るだけ早く目標点に達成できるよう頑張らしましょう!			
到達目標	1年次の最高スコア+100点			
検定資格	なし・ <input checked="" type="checkbox"/> 必修・任意 名称: TOEIC			
教科書 教材	TOEIC L&R テスト書き込みドリルスコア 650「全パート標準編」 桐原書店			
授業計画	<p>【TOEIC 頻出語句をチェック】 フレーズの教科書、問題文や選択肢に出てくる語句を繰り返し勉強することで、しっかり身に付ける。</p> <p>【リスニング】 問題を解いた後にスクリプトを読みながら、語彙やフレーズをチェックし、声を出して読めるようにする。</p> <p>【リーディング】 Part7 の長文に慣れるよう、時間を計りながら問題を解く。答え合わせの際に、しっかり読み込む。</p> <p>【模試】 時間配分を意識しながら解く練習をする。</p> <p>単語は授業内でゲームを通して確認する。</p>			
成績評価 方法	評価試験は小テスト(30%)、期末テスト(70%)とする。			
成績評価 基準	A: 評価試験(理解度)80%以上、出席率80%以上、平常点 優 B: 評価試験(理解度)60%以上、出席率70%以上、平常点 良 C: 評価試験(理解度)40%以上、出席率60%以上、平常点 可 D: 評価試験(理解度)40%未満、出席率60%未満、平常点 不可			

### 学生へのメッセージ

1年生の時に身に付けた英語力を更に伸ばし、就職に必要なスコアを取り、自信をもって社会で活躍できるようにしましょう!

## シラバス(授業計画)

科目名	国内観光地理Ⅰ・Ⅱ		科目区分	専門科目
対象	エアライン科 キャビンアテンダントコース、エアポートサービスコース、エアポートカーゴコース		授業形式	講義
実施期	2年 前期・後期	単位数	前期：1単位 後期：1単位	時間数 前期：15時間 後期：15時間
担当	松川 信也 実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> ・ 無 元添乗員、旅行コンサルティング会社経営。総合旅行業務取扱管理者。			
授業概要	空港での業務でも、日本国内のさまざまな地方から来た旅客と出会う。また日本人として観光の専門学校を卒業する以上、知っておいてほしい国内の観光地理の知識がある。当授業では、前半で基礎的な日本の観光地を学習し、後半では観光要素を交えた空港に関する知識を学習する。			
到達目標	① 日本の有名観光資源について、基本的情報を説明できる。 ② 日本国内および一部海外の空港に関する観光要素を説明できる。			
検定資格	<input checked="" type="checkbox"/> ・ 必修 ・ 任意 名称：			
教科書 教材	なし(配付プリント対応)			
授業計画	<p>I. 【2024 国内旅行の動向把握】 コロナ騒ぎの終結後の、講師が独自の観点で分析した 2024 年の国内旅行の動向を数点プレゼンテーションする。空港で出会うお客様とのコミュニケーション、あるいは自身が旅行する際の基礎知識を身につける。</p> <p>II. 【日本の美しい風景】 基本中の基本となる国内の 47 都道府県と県庁所在地を把握した後、パワーポイントやDVDを利用し、日本国内の主要観光地情報を把握する。</p> <p>III. 【日本の世界遺産】 ここ数年毎年のように新規「世界遺産」が日本に誕生し、観光振興に一役買っている。国内に存在する「世界遺産」25 か所をまとめて学習する。パワーポイント画像使用。</p> <p>IV. 【空港の観光要素把握】 空港とは旅行の始まる出発点であり、既に観光要素を併せ持っている。それらを学習しながら空港での旅客の動きに注目して必要知識の習得を目指す。</p>			
成績評価 方法	前期、後期とも各パートごと終了時に小テスト(平常点としてカウント)、期末に評価試験を実施する。欠席は0点扱いとなるので注意。各期とも、評価試験、出席率、平常点の総合評価とする。			
成績評価 基準	A: 評価試験 80 点以上、かつ 出席率 80%以上、かつ 平常点優 B: 評価試験 60 点以上、かつ 出席率 60%以上、かつ 平常点良以上 C: 評価試験 40 点以上、かつ 出席率 60%以上、かつ 平常点可以上 D: 評価試験 40 点未満、または 出席率 60%未満、または 平常点不可			

## 学生へのメッセージ

週に1回、空港の専門科目から離れて、折角観光の専門学校に来た皆さんに国内旅行の楽しさを学んでいただきます。ぜひ皆さんにも、日本人として国内旅行の楽しさを体得してください。

## シラバス(授業計画)

科目名	パソコンスキルⅡ・Ⅲ		科目区分	専門科目
対象	エアライン科 キャビンアテンダントコース、エアポートサービスコース、エアポートカーゴコース		授業形式	演習
実施期	2年 前期・後期	単位数	前期：1単位 後期：1単位	時間数 前期：15時間 後期：15時間
担当	宮崎 愛子			
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無	パソコン講師として実務経験あり。		
授業概要	現代社会において、仕事上PC操作は必須です。1年時の学習を踏まえて実践力を習得する。ワードではビジネス文書作成、エクセルでは基本関数およびグラフによるデータの視覚化とデータ分析力を修得する。また、パワーポイント操作ではプレゼンテーション資料の作成を修得する。			
到達目標	ワード・エクセルを含めたPC操作の基本を理解し、ビジネス文章の作成や、データからグラフ作成・データベース操作、パワーポイントを利用したプレゼンテーション資料が作成できるようにする。			
検定資格	なし ・ 必修 ・ <u>任意</u> 名称: 日本語ワープロ検定・マイクロソフトオフィススペシャリスト(MOS)検定			
教科書教材	「30時間アカデミック情報リテラシー Office2016」(実教出版) ※1年時の教科書を使用します			
授業計画	<p>【PC基本操作の確認】 1年時に学習したキーボードを利用しての入力練習(英数字・かな・漢字変換・文字の修正)、ワープロソフトを使い文章入力を復習する。 ホームポジションを意識した入力を実施する。</p> <p>【ワード基本作業】 文章入力練習を行う。 ワードアート・図形描画を利用した表現力のある文書作成を行う。 ビジネス文書の基礎や仕組みを学び、手書き問題からビジネス文書を作成する。(表作成含む)</p> <p>【パワーポイント基本作業】 操作方法を学習し、プレゼンテーション資料を作成する。(20分で1枚程度作成を目標とする。)</p> <p>【エクセル基本作業】 データ入力の基本を学ぶ。 データ入力の基本を理解し、関数を利用した表計算機能やデータベース操作を学習する。 データを利用してグラフ作成を行い、視覚的分析力の方法を学ぶ。</p>			
成績評価方法	※平常点は、授業への参加度や授業態度などを加味して20点満点とし、上記評価点数に組み込まれる。 ※ワード、エクセル共に、文書作成を課題として提出する。			
成績評価基準	A: 評価試験 80点以上、出席率 80%以上、課題提出、平常点 15点以上優 B: 評価試験 70点以上、出席率 70%以上、課題提出、平常点 10点以上良 C: 評価試験 50点以上、出席率 60%以上、課題提出、平常点 5点以上可 D: 評価試験 50点未満、出席率 60%未満、課題未提出、平常点 5点未満不可			

## 学生へのメッセージ

スマートフォンが1台あれば何でもできてしまう時代のため、「パソコンが苦手」と公言する方も少なくありません。しかし、仕事をする上でパソコン操作は必須です。就職してから困らないように、前向きに学習しましょう。

## シラバス(授業計画)

科目名	手話講座Ⅲ・Ⅳ		科目区分	専門科目
対象	エアライン科 キャビンアテンダントコース・エアポートサービスコース・エアポートカーゴコース		授業形式	演習
実施期	2年 前期・後期	単位数	前期：1単位 後期：1単位	時間数 前期：15時間 後期：15時間
担当	担当講師			
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無	手話通訳士		
授業概要	ユニバーサルサービスとして接客における手話を身に着ける。前期は4級の単語学習を中心におこない、後期は会話練習などを行う。聴覚障がいの基礎知識について学び、聴覚障がいをお持ちのお客様に対して手話などの方法でコミュニケーションがとれるようにする。			
到達目標	2年次においては手話検定4級レベルを目指す。			
検定資格	なし・必修・ <input checked="" type="checkbox"/> 任意 名称:手話技能検定4級			
教科書 教材	手話技能検定公式テキスト3・4級 (日本能率協会マネジメントセンター)			
授業計画	<p>【日常生活に必要な基本を学習Ⅰ】 あいさつ・天候・疑問・数字・日にち・時間・家族・色・方角・感情・動作・自然・仕事などを学習する。</p> <p>【日常生活に必要な基本を学習Ⅱ】 食べ物・動物・スポーツ・趣味・乗り物・形容詞・副詞・施設・地名・接客手話などを学習する。</p> <p>【日常生活に必要な基本を学習Ⅲ】 ロールプレイなどで日常会話や接客手話を学習する。また検定対策に向けて過去問題の学習を行う。 ろう者のゲストを呼び時、実際に手話を使って交流を行う</p> <p>【聴覚障がいの基礎知識】 聴覚障害者とは、日本手話と日本語対応手話、聴覚障害者数、コミュニケーションの多様性とその実践、聴覚障害者と法律・条例、耳の構造と補聴器、さまざまなマーク、ろう文化とは</p>			
成績評価 方法	授業内におこなう実技試験と期末試験、出席率、授業態度を総合的に評価します。			
成績評価 基準	A: 評価試験 80 点以上、出席率 80%以上、平常点優 B: 評価試験 60 点以上、出席率 70%以上、平常点良 C: 評価試験 40 点以上、出席率 60%以上、平常点可 D: 評価試験 40 点未満、出席率 60%未満、平常点不可			

## 学生へのメッセージ

--

## シラバス(授業計画)

科目名	韓国語 Ⅲ・Ⅳ		科目区分	専門科目
対象	エアライン科 キャビンアテンダントコース・エアポートサービスコース・エアポートカーゴコース		授業形式	講義
実施期	2年 前期・後期	単位数	前期：1単位 後期：1単位	時間数 前期：30時間 後期：30時間
担当	渡部 茂			
	実務経験：有・ <input type="checkbox"/> 無			
授業概要	教科書の各場面設定の例文をなぞることで文字書きにも慣れ、「パターン化」した例文のシャドーイングを反復練習する。			
到達目標	一年次で学んできた韓国語の約束事を各場面・状況に応用し、日本語のように「自分自身の語彙と表現」で、より高度な複文の発話運用が出来るようになること。			
検定資格	なし・必修・ <input type="checkbox"/> 任意 名称：ハングル検定（日本主催）、韓国語能力試験（韓国主催）			
教科書 教材	「例文をなぞって覚える 場面別会話集」 渡部 茂 著			
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 基本的な会話 一日の挨拶、何を召し上がりますか、こちらへどうぞ 等</li> <li>2. 日常会話 「ITHB学校」はどこですか、ITHB学校で何を学んでいますか 等</li> <li>3. 旅行・観光 機内にお忘れ物が無いように、お飲み物はいかがですか、酸素マスクの説明書もあります 等</li> <li>4. ホテル滞在 部屋を予約したいのですが、少々お待ち頂けますか調べてみます、非常口はどちらに行けば 等</li> <li>5. 飲食会話 この近くに美味しい食堂はありますか、友達二人が遅れて来ます、窓側の禁煙席をお願いします 等</li> <li>6. 交通・乗り物 「ITHB学校」まで行って下さい、千葉駅はどこですか、友達と隣の席にして欲しい 等</li> <li>7. ショッピング プレゼントを買いたいのですが、サイズがもっと大きい物を見せて下さい、試着室はどこですか 等</li> <li>8. 美容・エステ・整形 垢すりに行かない、キュウリパックをお願いします、明るい色に染めてみようかな 等</li> <li>9. 看病・介護・病気 コロナ肺炎には気を付けなくてはね、病院で注射を打ってもらいました、どのくらいで良くなりますか 等</li> <li>10. 感情表現 胸がいっぱいです、もう少し考えさせてくれる、私の話し最後まで聞いてよ、あれ 恥ずかしいな 等</li> <li>11. 人生の出来事 結婚おめでとうございます、余りに感動して涙が出ました、ウェディングドレス姿がとても素敵です 等</li> <li>12. スマホ・パソコン この場所電波が悪いな、ハングルの入力の方が分かりません、アドレス教えてくれる 等</li> </ol>			
成績評価 方法	出席の状況並びに積極的な授業参加の意欲・姿勢等 各単元整理の演習小テストの理解度			
成績評価 基準	A: 出席率 80%以上、評価試験（理解度）80%以上、 B: 出席率 70%以上、評価試験（理解度）70%以上、 C: 出席率 60%以上、評価試験（理解度）60%以上、 D: 出席率 60%未満、評価試験 受験不可			

### 学生へのメッセージ

外国語はただ読めるだけで終わらせず、自分の言葉で自己主張が出来る発信がポイントである。今後のグローバル化の進展の中で、コミュニケーション道具の一部と認識し、就職活動中や内定後であっても、ペースダウンすることなく、積極的に授業参加に努めて欲しい。将来の労働力不足傾向の日本社会の現状をふまえ、自己発信力として活用することで、自己存在の確立を高める姿勢が重要だ。



## シラバス(授業計画)

科目名	中国語Ⅲ・Ⅳ		科目区分	専門科目
対象	エアライン科 キャビンアテンダントコース・エアポートサービスコース・エアポートカーゴコース		授業形式	講義
実施期	2年 前期・後期	単位数	前期：1単位 後期：1単位	時間数 前期：30時間 後期：30時間
担当	張翼飛			
	実務経験：有・ <input type="checkbox"/> 無			
授業概要	この授業は1年の発音と基本文法を学習後の応用コースです、主に初歩的な表現とその応用を中心に行い、特に空港もしくは空港関連する職場で使う会話を取り入れたいです。			
到達目標	空港でよく使う中国語フレーズを会話できるように。			
検定資格	なし・必修・ <input type="checkbox"/> 任意 名称:中国語検定試験			
教科書 教材	中国語初歩の初歩（高橋書店） 講師作成プリントに基づき学習します。			
授業計画	<p>【中国語の概要】 ピンインと四声の復習 基本の挨拶と呼びかけ 出会いと別れの挨拶</p> <p>【空港で使える中国語を学習】 チェックイン編 出国編 免税編 搭乗編 機内編</p> <p>【空港で使える中国語の会話練習】 空港で搭乗口の場所を教える時に使う中国語 空港で荷物の重さ制限の説明する時に使う中国語 空港で危険物を尋ねる時に使う中国語</p> <p>【テストと復習】 テストと復習</p>			
成績評価 方法	下記評価基準に基づく			
成績評価 基準	A: 評価試験(理解度)80%以上、出席率80%以上、平常点 優 B: 評価試験(理解度)70%以上、出席率70%以上、平常点 良 C: 評価試験(理解度)40%以上、出席率60%以上、平常点 可 D: 評価試験(理解度)40%未満、出席率60%未満、平常点 不可			

### 学生へのメッセージ

中国語を習得してから、日常生活楽しいこともひとつ増えますし、就職も役に立ちますし、自信もついて来ますし、ぜひ中国語授業を楽しんでください。

## シラバス(授業計画)

科目名	航空機研究		科目区分	専門科目
対象	エアライン科 キャビンアテンダントコース・エアポートサービスコース・エアポートカーゴコース		授業形式	講義
実施期	2年 前期	単位数	前期：1単位	時間数
担当	逢坂 理恵			
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> ・無	航空貨物取扱企業にて職員教育担当の実務経験あり。現在も航空貨物取扱企業勤務。		
授業概要	航空業界で働くための基礎となる知識、特に航空機とその周囲で働くスタッフについて学びます。また航空機の事故事例から“空の安全”について考え、将来の職場でも安全に対し意識をもって仕事ができるように、安全の重要性を学びます。			
到達目標	航空会社業務への理解を深める。 航空業界の責任について学ぶ			
検定資格	<input type="checkbox"/> ・必修・任意 名称:			
教科書 教材	講師作成教材			
授業計画	<p>【航空機の歴史と原理】 航空機や航空会社の成り立ち、航空機の種類と構造 航空機が離陸するためにかかる力と原理</p> <p>【航空機の整備と機体構造】 整備業務と資格要件 機体の部位と機種ごとの違い</p> <p>【航空機を囲む人々と作業】 航空機が出発するまでの流れと携わるスタッフ 航空機の周囲で使用される支援機材</p> <p>【航空機の安全/全体復習】 バランスの重要性と航空機事故の紹介 まとめ</p>			
成績評価 方法	学期末に行う評価試験、出席状況と授業参加意欲により評価される。 (評価試験は欠席の場合、0点として取り扱う)			
成績評価 基準	A: 評価試験(理解度)90%以上、出席率90%以上、平常点 優 B: 評価試験(理解度)70%以上、出席率80%以上、平常点 良 C: 評価試験(理解度)40%以上、出席率60%以上、平常点 可 D: 評価試験(理解度)39%以下、出席率60%未満、平常点 不可			

## 学生へのメッセージ

航空業界を目指す上で必要な知識が満載です。飛行機の仕組み、航空業界の仕事について学びながら、就職活動や就職後の仕事にも活かせる知識を学んでいきましょう。半年間、よろしくお願いいたします。

## シラバス(授業計画)

科目名	エアライン受験対策Ⅱ		科目区分	専門科目
対象	エアライン科 キャビンアテンダントコース・エアポートサービスコース・エアポートカーゴコース		授業形式	演習
実施期	2年 前期	単位数	前期 : 1 単位	時間数
担当	須田礼美			
	実務経験 : <input checked="" type="checkbox"/> ・ 無	エアライン業界にて地上職及び客室乗務員として実務経験あり。		
授業概要	<p>面接試験の本番に向けて、自覚と自信を強めるための講座です。</p> <p>1年次に学習し練習を重ねた内容を再確認しながら、面接の種類によってアプローチの方法を変え、業種や企業ごとに過去問題を使用して本番に備えていきます。フラッシュカードを使って質疑応答の際に必要な瞬発力を鍛え、受け応えの様子を撮った動画を見ながら、自分自身を客観的に分析し必要な部分を改善していきます。</p>			
到達目標	<p>○緊張している自分を客観視できるようになる。</p> <p>○本来の自分らしさを損なうことなく自己表現できるようになる。</p> <p>○自信を持って、自分らしく面接試験の本番に臨むための準備を整える。</p>			
検定資格	<input checked="" type="checkbox"/> ・ 必修 ・ 任意 名称:			
教科書 教材	適宜プリント配布			
授業計画	<p>① 導入 : 一年次の復習及び進捗状況の確認 (自己分析・企業研究・ESに関する個々の進捗状況及び進路変更等を個別に確認)</p> <p>② 模擬面接 : 面接の種類とそれぞれの目的・流れ・チェックポイント等の説明 (オンライン・グループ・個人・グループワーク/ディスカッションなど) 企業や業種ごとに分かれ、過去問を使って質疑応答練習 過去に出題されたテーマで、時間を計ってディスカッション練習</p> <p>③ 模擬面接 : ペアワーク 進捗状況が近い者同士でペアを組み、フラッシュカードで瞬発力を鍛える 質疑応答の様子を互いに動画撮影し合い、改善点を探す</p> <p>【適宜対応】 個々の進捗状況や企業の募集時期に応じて、エントリーシートの添削・個人指導</p>			
成績評価 方法	評価試験・自己PR/志望動機の進捗状況・出席状況・授業参加意欲(平常点)の総合評価で判断する			
成績評価 基準	<p>A : 評価試験 90%以上、出席率 90%以上、平常点 優</p> <p>B : 評価試験 80%以上、出席率 80%以上、平常点 良</p> <p>C : 評価試験 70%以上、出席率 60%以上、平常点 可</p> <p>D : 評価試験 70%未満、出席率 60%以下、平常点 不可</p>			

### 学生へのメッセージ

就職活動の本質は、他者との比較や競争ではないはずです  
自分自身の過去・現在・未来とじっくり向かい合い、最終的にあなた自身が納得できる就職をするために一緒に頑張りましょう

## シラバス(授業計画)

科目名	空港旅客サービス実務Ⅱ		科目区分	専門科目
対象	エアライン科エアポートサービスコース		授業形式	講義
実施期	2年 前期	単位数	前期：1単位	時間数
担当	松本 多英美			
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> ・無	エアライン業界にてグランドスタッフとして6年間の実務経験あり。		
授業概要	1年次に学習した内容をベースにし、さらに実践的な空港業務の内容を学習します。 特別なお客様の対応やイレギュラー時の対応など、通常時以外の対応についても学びます。			
到達目標	空港における様々な業務の知識をさらに広げ、目の前のお客様にどう対応するのか、具体的に実際の現場を想定し、自ら考え行動に移せる力を身に付けます。			
検定資格	<input type="checkbox"/> ・必修・任意 名称:			
教科書 教材	なし			
授業計画	<p>【出入国書類について】 出入国に必要な書類について ビザ免除国について</p> <p>【機内食】 特別機内食の種類</p> <p>【特別旅客のハンドリング】 障がいをお持ちのお客様への理解と対応方法について</p> <p>【イレギュラー時の対応】 システムダウン時のマニュアル対応について</p> <p>【航空会社 PR ポスター作成】 グループワーク</p>			
成績評価 方法	下記評価基準に基づく			
成績評価 基準	A: 評価試験 80 点以上かつ出席率 80%以上、 平常点 優 B: 評価試験 70 点以上かつ出席率 70%以上、 平常点 良 C: 評価試験 50 点以上かつ出席率 60%以上 平常点 可 D: 評価試験 50 点未満、 出席率 60%未満、 平常点 不可			

## 学生へのメッセージ

--

## シラバス(授業計画)

科目名	観光英検対策Ⅰ・Ⅱ		科目区分	専門科目
対象	エアライン科キャビンアテンダントコース・エアポートサービスコース		授業形式	講義
実施期	2年 前期・後期	単位数	前期：1単位 後期：1単位	時間数 前期：15時間 後期：15時間
担当	担当講師			
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> ・ 無	旅行業界にて英語を使用した旅程管理実務経験あり。		
授業概要	<p>観光英語検定は、業界専門用語や独特の言い回しなど、「業務遂行に必要な英語力を持ったプロフェッショナル」を育成するべく、全国語学ビジネス観光教育協会の専門学校を中心に、業務の基礎的技術の向上を目的として実施される検定です。</p> <p>この検定の主旨に沿い、試験に出題される表現を中心に、旅行や観光に関連する専門用語、慣用表現等を、サービス提供者および旅行者の視点で学びます。</p> <p>過去問題を使用します。</p>			
到達目標	<p>観光英検3級の取得。 あるいは、協会で設定する3級ないし2級レベルの英語力の習得。 (検定レベルは全国語学ビジネス観光教育協会 HP <a href="https://kanko.zgb.gr.jp">https://kanko.zgb.gr.jp</a> を参照)</p>			
検定資格	なし・必修・ <input checked="" type="checkbox"/> 任意 名称:観光英語検定3級または2級			
教科書 教材	適宜プリント配布			
授業計画	<p>【 頻出表現および会話 】 空港・出入国 / 交通機関 / 宿泊 / 観光 / 買い物 / 病院 / ほか、実際の場面を想定したもの</p> <p>【 長文読解 】 ツアーのブローチャー / 観光地の案内文</p> <p>【 文化・地理・歴史 】 検定試験に出題される可能性がある知識</p>			
成績評価 方法	出席率、授業態度、意欲、評価試験			
成績評価 基準	<p>A: 評価試験(理解度)80%以上、かつ出席率80%以上、かつ平常点 優</p> <p>B: 評価試験(理解度)60%以上、または出席率70%以上、または平常点 良</p> <p>C: 評価試験(理解度)40%以上、または出席率60%以上、または平常点 可</p> <p>D: 評価試験(理解度)40%未満 または 出席率60%未満 または 平常点 不可</p>			

## 学生へのメッセージ

観光英語検定は、筆記・リスニングともに、旅行・観光に絞られた出題です。出題の傾向は空港、ホテル、観光、ショッピングなどの実際場面を想定したのですが、観光に必須の地理・歴史の知識も問われます。英語が得意な方も、ちょっと苦手だなという方も、旅行を楽しむ気持ちで一緒に学びましょう。

## シラバス(授業計画)

科目名	エアカーゴ入門			科目区分	専門科目
対象	エアライン科エアポートサービスコース			授業形式	講義
実施期	2年 前期	単位数	前期 : 1 単位	時間数	前期 : 15 時間
担当	栞原 和希				
	実務経験 : <input checked="" type="checkbox"/> ・ 無	物流関連企業にて実務経験あり。			
授業概要	国際航空貨物の発展と基礎的な輸送の流れを学び、日々目にする商品・製品がどのように自分たちの手元に届くのか。また、その輸送途上でどのような作業・業務が行われているかを学びます。				
到達目標	物流、国際輸送、航空貨物輸送の基礎知識を修得する。				
検定資格	<input type="checkbox"/> なし ・ 必修 ・ 任意 名称:				
教科書 教材	講師作成の資料				
授業計画	<p>【国際航空貨物概論】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○航空貨物輸送発達の理由、航空貨物輸送の利点</li> <li>○航空輸送される貨物の種類、品目、貨物量など</li> <li>○貿易における輸送手段(海上輸送と航空輸送に比較など)</li> </ul> <p>【航空貨物取扱に関わる業種】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○グランドハンドリング</li> <li>○航空貨物取扱代理店(フォワーダー)</li> </ul> <p>【航空貨物(輸送)の種類と流れ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○航空貨物輸送の流れ</li> <li>○航空貨物輸送における貨物の包装(梱包)、ラベル貼付等</li> <li>○危険物取扱について</li> </ul>				
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A: 評価試験(理解度)80 点以上、出席率 80%以上、平常点 優 B: 評価試験(理解度)70 点以上、出席率 70%以上、平常点 良 C: 評価試験(理解度)40 点以上、出席率 60%以上、平常点 普通 D: 評価試験(理解度)40 点未満、出席率 60%未満、平常点 不良				

## 学生へのメッセージ

--

## シラバス(授業計画)

科目名	ワールドデスティネーションズⅢ・Ⅳ		科目区分	専門科目
対象	エアライン科 キャビンアテンダントコース・エアポートサービスコース・エアポートカーゴコース		授業形式	講義
実施期	2年 前期 後期	単位数	前期：1単位 後期：1単位	時間数 前期：30時間 後期：30時間
担当	担当講師			
	実務経験：有・無 旅行業界にて旅程管理実務経験あり。現在も添乗員として勤務。			
授業概要	<p>みなさんが本校で学ぶ科目の多くは、世界地理の知識を必要とします。本科目の目的は、2年間で、①世界の主だった渡航先や輸出入が行なわれる国々について幅広く学び、基本的な知識を身に着けること、②アマデウスやディプロマ等、他科目の学習の手助けとなること、③みなさんの興味を広げていただくこと、の3点です。</p> <p>2年次では、以下について理解を深めます。</p> <p>①主に日本からの渡航者が多く訪れる箇所の特徴や魅力、気候、文化、特産品</p> <p>②日本へ空輸される物品</p> <p>③言語、文化風習、各国諸事情等</p> <p>授業内容・順番は変更になる場合があります。</p>			
到達目標	世界の主要な国、都市を地図上で直ちに指し示すことができる。日本からの主だった渡航先について、文化や観光資源を理解することができる。日本への空輸品と国の特徴を結び付けて考えることができる。			
検定資格	なし・必修・任意 名称:			
教科書 教材	旅に出たくなる地図世界(帝国書院)(1年次に購入済) 世界白地図(1年次に購入済) プリント適宜配布			
授業計画	<p>【 概論 】 中米・カリブ / 南米 (1年次未履修分)</p> <p>【 オセアニア各論 】 オーストラリア / ハワイ / グアム・サイパン(概論を兼ねる)</p> <p>【 アジア各論 】 韓国 / 中国本土 / 台湾 / 香港・マカオ / ベトナム / タイ / マレーシア / シンガポール / インドネシア / フィリピン / インド 他</p> <p>【 北米各論 】 アメリカ合衆国 / カナダ</p> <p>【 中南米各論 】 メキシコ / ブラジル / ペルー / チリ / アルゼンチン</p> <p>【 ヨーロッパ各論 】 英国 / フランス / スペイン / オーストリア / スイス / ドイツ / イタリア / スカンジナビア諸国</p> <p>【 中東・アフリカ各論 】 トルコ / エジプト</p>			
成績評価 方法	評価試験、出席率、授業態度、意欲			
成績評価 基準	<p>A: 評価試験(理解度)80%以上、かつ出席率80%以上、かつ平常点 優</p> <p>B: 評価試験(理解度)60%以上、または出席率70%以上、または平常点 良</p> <p>C: 評価試験(理解度)40%以上、または出席率60%以上、または平常点 可</p> <p>D: 評価試験(理解度)40%未満、または出席率60%未満、または 平常点 不可</p>			

## 学生へのメッセージ

“デスティネーションズ Destinations”とは、「旅行などの目的地」という意味です。航空会社や空港、貨物等、国際的なものに関わって活躍しようとする皆さんにとって、世界の地勢や国々に関する基本的な情報は必須です。机の上で一緒に旅をしながら、世界への知識を深めましょう。1年次同様、みなさんの意欲的な授業の参加を、期待します。

## シラバス(授業計画)

科目名	電話応対ベーシックⅠ・Ⅱ		科目区分	専門科目
対象	エアライン科 キャビンアテンダントコース・エアポートサービスコース・エアポートカーゴコース		授業形式	演習
実施期	2年 前期・後期	単位数	前期：1単位 後期：1単位	時間数 前期：15時間 後期：15時間
担当	岸田輝美 実務経験：有・無 電話応対・マナー講師実務経験あり。現在は、マナー会社取締役。			
授業概要	あらゆるビジネスシーンに必要な「電話応対」には、正しい日本語の使い方・基本的なビジネスマナー・様々な状況に臨機応変に対応することができるコミュニケーション能力が求められます。本授業では、実践ですぐに役に立つ、社会人として最低限に必要なスキルを身に付けていく「電話総合ビジネスマナー」を学んでいきます。			
到達目標	実践ですぐに役に立つ電話応対を学ぶ。信頼関係を築くためのコミュニケーションスキルを習得します。訓練用模擬電話機「てるコーチX」でトレーニングをして即戦力を目指す。			
検定資格	なし・必修・任意 名称: 電話応対技能検定4級			
教科書 教材	ビジネスマナーテキストブック(ビューティフルマナー株式会社出版) 前向きな言葉の作り方実践ワークブック(一般社団法人日本ベップトーク普及協会)			
授業計画	<p>【総合ビジネスマナーの概要】 社会人として必要なマナー(人を思いやる心)を「武士道」から理解する。 人間関係を支える基本マナーは「愛」を学ぶ</p> <p>【日本語の特徴】 敬語の由来、慣用句等に触れ美しい日本語の表現を学ぶ 敬語の5つの基本形を学ぶ おもてなしの表現を研究する(ステップアップ)</p> <p>【電話応対のマナー】 「正確・簡潔・丁寧・迅速」、電話応対の注意点や電話のかけ方、受け方、取り次ぎ方、常套句等、実技トレーニングをしていく</p> <p>【いろいろな場面での電話応対】 電話の第一印象であるオープニングの解説と実技トレーニング 電話の向こうの「あなた」に爽やかな余韻を残しての終話(クロージング)の解説と実技トレーニング</p> <p>【前向きな言葉を意識する】 ポジティブな言葉を使うことで自分を相手を心地良くさせ、信頼関係の構築に繋げる。言葉の選び方で相手への伝わり方が違うことを学び日々の言葉使いを意識させる。</p>			
成績評価 方法	学期末には評価試験を行う。 評価試験を欠席した場合は、0点として取り扱う。出席状況、授業参加意欲も評価される			
成績評価 基準	A: 評価試験(理解度)80%以上、出席率80%以上、平常点 優 B: 評価試験(理解度)70%以上、出席率70%以上、平常点 良 C: 評価試験(理解度)40%以上、出席率60%以上、平常点 可 D: 評価試験(理解度)40%未満、出席率60%以下、平常点 不可			

## 学生へのメッセージ

社会に出たら会社の代表として電話に出ます。あなたの応対が心地よいからこの会社をお願いしたいと言われるようにファンづくりに繋がっていきましょう。電話というツールを活かして対人とのコミュニケーションスキルを学びましょう



## シラバス(授業計画)

科目名	エクササイズⅢ・Ⅳ		科目区分	専門科目
対象	エアライン科 キャビンアテンダントコース・エアポートサービスコース・エアポートカーゴコース		授業形式	演習
実施期	2年 前期・後期	単位数	前期：2単位 後期：2単位	時間数 前期：30時間 後期：30時間
担当	北原 大輔 実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無 <input type="checkbox"/> 無 スポーツインストラクターとして実務経験あり。			
授業概要	健康維持増進のために日頃から身体を動かしておくことは必要不可欠なことであり、また、身体運動量が比較的高い職業においては、高い体カレベルを保持しておくことが望ましいと言えます。 基本的な運動を通じて精神力と敏捷性、持久性、平衡性など、はつらつとした身体をつくります。また、球技スポーツの体験を通して、健康および体力の向上を図るとともに、運動習慣を体得し、生涯に渡り運動・スポーツを実践できるようになることを目指します。加えて、コミュニケーション能力とリスペクトの精神を養うことで、社会人として必要とされる他者と協働する力を鍛えます。			
到達目標	健康づくりのための身体活動基準以上の運動・スポーツの実践 体力向上のための定期的なトレーニングの実践(自己目標の設定)			
検定資格	なし ・ 必修 ・ 任意 名称:			
教科書教材	なし、必要によりプリント用意			
授業計画	<p>【健康と体力/筋トレⅠ/「投げる」球技スポーツ/ウォーキング/】 「健康」、体力、「健康と体力の関係」について学ぶ 筋トレ、器具の使い方や効果について バスケットボールなど(競技特性・ルール)の理解と実践 ウォーキングの正しいやり方と効用</p> <p>【ストレッチング/持久カトレーニング】 ストレッチングの意義と実践 持久カトレーニングの意義と実践(持続性トレーニング)</p> <p>【筋トレⅡ/運動と安全/体力の測定と評価】 前期より負荷を挙げて筋力アップを図る 傷害の理解と予防 形態計測、筋力測定、運動能力テストの実施と評価</p>			
成績評価方法	※平常点は、授業への参加度や授業態度などを加味して20点満点とし、上記評価点数に組み込まれる。			
成績評価基準	A: 授業内期末試験 70点以上、出席率90%以上、平常点15点以上 優 B: 授業内期末試験 50点以上、出席率60%以上、平常点10点以上 良 C: 授業内期末試験 30点以上、出席率60%以上、平常点5点以上 可 D: 授業内期末試験 30点未満、出席率60%未満、平常点5点未満 不可			

## 学生へのメッセージ

--

## シラバス(授業計画)

科目名	危険物取扱講座Ⅰ・Ⅱ		科目区分	専門科目
対象	エアライン科 キャビンアテンダントコース・エアポートコース・エアポートカーゴコース		授業形式	講義
実施期	2年 前期・後期	単位数	前期：1単位 後期：1単位	時間数 前期：15時間 後期：15時間
担当	逢坂 理恵			
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無	航空貨物取扱企業にて教育担当の実務経験あり。		
授業概要	航空機に搭載する手荷物や航空貨物には、危険物とされるものが規則で定められています。危険物は取り扱いを間違えると大事故に繋がってしまうため、航空業界で働くために身に付けておくべき知識の一つです。			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・危険物の分類や危険性、ラベルを理解する・旅客手荷物に含まれる危険物を理解する</li> <li>・航空機の搭載規則を理解する・危険物規則書の見方を理解する</li> <li>・危険物申告書の作成、マーキング・ラベリングの規則を理解する・航空安全に対する意識を醸成する</li> </ul>			
検定資格	<input type="checkbox"/> なし ・ 必修 ・ 任意 名称:			
教科書 教材	講師作成教材			
授業計画	<p><b>【危険物とは】【規則と適用方法】【IATA 規則第1章～第2章】</b>          国連機関や規則の種類          規則の適用方法、例外規定          認可と適用免除、隠れた危険物          微量・少量危険物</p> <p><b>【IATA 規則第3章】【IATA 規則第7章】【IATA 規則第9章】【全体復習】</b>          分類区分のラベルやIMPコード、主な品目について          ラベリング・マーキングの種類          受託、保管、搭載に関する規則          旅客手荷物に関する規則          全体のまとめ</p> <p><b>【前期の復習】【IATA 規則第4章～6章】</b>          前期の復習          分類・IMPコード、危険性          受託・搭載についての規則          危険物リストの見方、引き方          容器の種類と包装基準、国連規格容器</p> <p><b>【IATA 規則第7章～8章】【全体復習】</b>          ラベリング・マーキングの表示          危険物申告書の記載内容          全体のまとめ、問題演習</p>			
成績評価 方法	学期末に行う評価試験、出席状況と授業参加意欲により評価される。 (評価試験は欠席の場合、0点として取り扱う)			
成績評価 基準	A: 評価試験(理解度)90%以上、出席率90%以上、平常点 優 B: 評価試験(理解度)70%以上、出席率80%以上、平常点 良 C: 評価試験(理解度)40%以上、出席率60%以上、平常点 可 D: 評価試験(理解度)40%未満、出席率60%未満、平常点 不可			

## 学生へのメッセージ

私たちの身の回りの物の中にも様々な種類の危険物があります。少し専門的な危険物の世界を学んでいきましょう。難しそうなお内容もわかりやすく、面白いと感じる授業にしていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

## シラバス(授業計画)

科目名	企業実習		科目区分	専門科目
対象	エアライン科 アポートサービスコース・エアポートカーゴコース		授業形式	実習
実施期	2年 後期	単位数	2単位	時間数
	後期 : 60時間			
担当	企業担当者			
	実務経験 : <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無	各企業現場指導者より		
授業概要	航空業界企業に出向き、業務を実際の体験を通して理解する。 精神的な成長かつ技術的な成長を成し遂げて、社会に出る為の準備を目的とする。			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実践業務を学び、知識・技術の向上</li> <li>・社会人としてのマナーの習得</li> <li>・ボランティアを通じて社会情勢を理解すると共に、おもてなしや思いやりの精神を育む</li> </ul>			
検定資格	<input type="checkbox"/> なし ・ 必修 ・ 任意 名称:			
教科書 教材	なし			
授業計画	<p>&lt;企業実習内容&gt; 各企業の館内及び施設見学、航空業界全般並びに各企業ルールと共に接客時のマナーを学ぶ。</p> <p>【キャビンアテンド】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・機内サービス/アナウンス</li> <li>・接客マナー</li> </ul> <p>【グラウンドスタッフ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・チェックイン業務</li> <li>・接客マナー</li> </ul> <p>【グラウンドハンドリング】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・カーゴハンドリング業務</li> <li>・危険物取扱業務</li> </ul>			
成績評価 方法	実習報告手帳に基づく			
成績評価 基準	<p>【年間実習時間】</p> <p>R:実習修了時間 60時間以上</p> <p>D:実習修了時間 60時間未満</p>			

## 学生へのメッセージ

--

## シラバス(授業計画)

科目名	ボランティア		科目区分	専門科目
対象	エアライン科エアポートサービスコース・エアポートカーゴコース		授業形式	実習
実施期	2年 後期	単位数	2 単位	時間数
	後期 : 60 時間			
担当	各ボランティア団体 担当者			
	実務経験 : <input checked="" type="checkbox"/> ・ 無	各企業現場指導者より		
授業概要	・ボランティア活動を通じて、他者に尽くすことで得られる幸福感や喜びを実感し、心の豊かさを育む。 (感謝の気持ちの大切さ・共感と思いやりの醸成・自己肯定感の向上)			
到達目標	・他者との良好な人間関係を築くためのコミュニケーション能力とマナーの習得。 ・ボランティアを通じて社会情勢を理解すると共に、おもてなしや思いやりの精神を育む。			
検定資格	<input type="checkbox"/> ・ 必修 ・ 任意 名称:			
教科書 教材	なし			
授業計画	<p>&lt;ボランティア&gt; 学校に募集がかかったボランティア活動、若しくは千葉市のボランティアネットワークを活用し、自身が参加したいボランティア活動へ参加。</p> <p>【ボランティア内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域貢献</li> <li>・ビーチクリーン</li> <li>・デイサービス</li> <li>・文化活動 他</li> </ul>			
成績評価 方法	実習報告手帳に基づく			
成績評価 基準	<p>【年間実習時間】</p> <p>R:実習修了時間 60 時間以上</p> <p>D:実習修了時間 60 時間未満</p>			

## 学生へのメッセージ

--

エアポートカーゴコース

専門科目

## シラバス(授業計画)

科目名	English Communication III・IV			科目区分	専門科目
対象	エアライン科 キャビンアテンダントコース・エアポートサービスコース・エアポートカーゴコース			授業形式	演習
実施期	2年 前期・後期	単位数	前期：1単位 後期：1単位	時間数	前期：30時間 後期：30時間
担当	Native teacher				
	実務経験：有・ <input type="checkbox"/> 無				
授業概要	Students will practice speaking, listening & reading skills on a broad range of topics.				
到達目標	The students will build on the English skills they gained in the first year, with the emphasis on communication skills.				
検定資格	<input type="checkbox"/> なし・必修・任意 名称:				
教科書 教材	Stretch 2 Student Book with Online Practice (Oxford university Press) 3454 円				
授業計画	<p>【Hobbies】 - Free time hobbies</p> <p>【Clothes &amp; colors】 - Shopping for clothes, comparatives</p> <p>【An active life】 - Sports and exercise</p> <p>【Getting around】 - Transportation &amp; schedules</p> <p>【Personality】 - Personality traits, meeting people</p> <p>【Cooking】 - Recipes &amp; instructions</p> <p>【Weather】 - Weather types, climates, superlatives</p> <p>【Everyday activities】 - Daily activities, past continuous</p> <p>【Math, history, and art】 - School subjects, important subjects</p> <p>【A busy semester】 - How to succeed, present perfect</p> <p>【Favors and requests】 - Asking for favors, asking for help</p> <p>【Before you travel】 - Preparing for trips</p>				
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	<p>A: 評価試験 80 点以上、出席率 80%以上、平常点 優</p> <p>B: 評価試験 70 点以上、出席率 80%以上、平常点 良</p> <p>C: 評価試験 60 点以上、出席率 60%以上、平常点 可</p> <p>D: 評価試験 60 点未満、出席率 60%未満、平常点 不可</p>				

### 学生へのメッセージ

Don't be shy! Do your best!

## シラバス(授業計画)

科目名	Airline English II・III		科目区分	専門科目
対象	エアライン科 キャビンアテンダントコース・エアポートサービスコース・エアポートカーゴコース		授業形式	演習
実施期	2年 前期 後期	単位数	前期：1単位 後期：1単位	時間数 前期：15時間 後期：15時間
担当	語学担当講師			
	実務経験：有・ <input type="checkbox"/> 無			
授業概要	Students will learn airline-related vocabulary and phrases, practice them in role-plays and memorize them.			
到達目標	Further develop students' English language skills for airline related situations and build confidence in communicating in English.			
検定資格	<input type="checkbox"/> なし・必修・任意 名称:			
教科書 教材	Airline English (オリジナルテキスト)			
授業計画	<p>Airport security check conversation</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ Prohibited items ・Security check ・Security inspection (hand luggage/ body, etc.)</li> </ul> <p>Duty free conversation</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ Duty free items limits/ Landing document ・Payment method ・inflight shopping</li> </ul> <p>Boarding gate English</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ Announcements and instructions</li> </ul> <p>Preparation for oral test</p> <p>【Inflight conversations】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ Preflight safety instructions</li> <li>➤ Inflight amenities and services</li> <li>➤ Inflight meal and drink service</li> <li>➤ Inflight shopping and currency</li> <li>➤ Inflight problems (illness and emergency situations)</li> </ul> <p>Preparation for oral test</p>			
成績評価 方法	Test (written and oral), attendance, in class attitude and effort			
成績評価 基準	<p>A: 評価試験(理解度)80%以上、出席率90%以上、平常点優</p> <p>B: 評価試験(理解度)60%以上、出席率80%以上、平常点良</p> <p>C: 評価試験(理解度)50%以上、出席率60%以上、平常点可</p> <p>D: 評価試験(理解度)50%未満、出席率60%未満、平常点不可</p>			

### 学生へのメッセージ

シラバス(授業計画)

科目名	TOEIC 対策Ⅲ・Ⅳ			科目区分	専門科目
対象	エアライン科エアポートサービスコース・エアポートカーゴコース			授業形式	講義
実施期	2年 前期・後期	単位数	前期：3単位 後期：3単位	時間数	前期：45時間 後期：30時間
担当	岡野恵美子				
	実務経験：有・ <input type="checkbox"/> 無				
授業概要	TOEIC のスコアをさらにアップさせるために、問題演習を通じて英語力の弱点を見つけ、その補強をします。中でも問題数の多いリスニングセクションの Part3 と Part4、リーディングセクションの Part7 の正答数を増やすための集中演習を行います。				
到達目標	1 年次 TOEIC スコアより 100 点アップ				
検定資格	なし・ <input checked="" type="checkbox"/> 必修・任意 名称: TOEIC				
教科書 教材	TOEIC L&R テスト書き込みドリルスコア 650「全パート標準編」 桐原書店 TOEIC L&R 公式ポキャブラリーブック 国際ビジネスコミュニケーション協会				
授業計画	<p>【リーディング Part5&amp;6 対策】 テキスト及び各種問題集を使用した問題演習 頻出文法の定着と単語テストによる語彙力強化</p> <p>【リーディング Part7 対策】 テキスト及び各種問題集を中心とした長文読解演習</p> <p>【リスニング Part1&amp;2 対策】 テキスト及び各種問題集を使用した写真問題と応答問題の演習</p> <p>【リスニング Part3&amp;4 対策】 テキスト及び各種問題集を使用した会話文と説明文の問題演習</p>				
成績評価 方法	毎週のチェックテストに加え、TOEIC 受験直前には模擬試験を実施し、平常点に加点します。また学期末には評価試験を行い、出席率、TOEIC スコアと共に総合的に判断します。				
成績評価 基準	<p>A: 評価試験(理解度)80%以上、出席率 80%以上、平常点 優</p> <p>B: 評価試験(理解度)60%以上、出席率 70%以上、平常点 良</p> <p>C: 評価試験(理解度)40%以上、出席率 60%以上、平常点 可</p> <p>D: 評価試験(理解度)40%未満、出席率 60%未満、平常点 不可</p>				

学生へのメッセージ



## シラバス(授業計画)

科目名	TOEIC 対策Ⅲ/Ⅳ		科目区分	専門科目
対象	エアライン科エアポートサービスコース・エアポートカーゴコース		授業形式	講義
実施期	2年 前期 後期	単位数	前期 : 3 単位 後期 : 2 単位	時間数 前期 : 45 時間 後期 : 30 時間
担当	日隈 敬子			
	実務経験 : 有・ <input type="checkbox"/> 無			
授業概要	TOEIC には英語能力だけではなく、時間の使い方や技術が必要になってきます。このクラスでは1年生で固めた文法やリスニング力を上手くいかせるよう、常に時間に意識しながら問題をこなしていきます。英語の語彙力向上と共に、TOEIC のスコアアップ、さらには本物の英語力を身につける事を目指します。出来るだけ早く目標点に達成できるよう頑張らしましょう!			
到達目標	1年次の最高スコア+100点			
検定資格	なし・ <input checked="" type="checkbox"/> 必修・任意 名称: TOEIC			
教科書 教材	TOEIC L&R テスト書き込みドリルスコア 650「全パート標準編」 桐原書店			
授業計画	<p>【TOEIC 頻出語句をチェック】 フレーズの教科書、問題文や選択肢に出てくる語句を繰り返し勉強することで、しっかり身に付ける。</p> <p>【リスニング】 問題を解いた後にスクリプトを読みながら、語彙やフレーズをチェックし、声を出して読めるようにする。</p> <p>【リーディング】 Part7 の長文に慣れるよう、時間を計りながら問題を解く。答え合わせの際に、しっかり読み込む。</p> <p>【模試】 時間配分を意識しながら解く練習をする。</p> <p>単語は授業内でゲームを通して確認する。</p>			
成績評価 方法	評価試験は小テスト(30%)、期末テスト(70%)とする。			
成績評価 基準	A: 評価試験(理解度)80%以上、出席率80%以上、平常点 優 B: 評価試験(理解度)60%以上、出席率70%以上、平常点 良 C: 評価試験(理解度)40%以上、出席率60%以上、平常点 可 D: 評価試験(理解度)40%未満、出席率60%未満、平常点 不可			

### 学生へのメッセージ

1年生の時に身に付けた英語力を更に伸ばし、就職に必要なスコアを取り、自信をもって社会で活躍できるようにしましょう!

## シラバス(授業計画)

科目名	エアライン受験対策Ⅱ			科目区分	専門科目
対象	エアライン科全コース			授業形式	演習
実施期	2年 前期	単位数	前期：1単位	時間数	前期：15時間
担当	須田礼美				
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無	エアライン業界にて地上職及び客室乗務員として実務経験あり。			
授業概要	面接試験の本番に向けて、自覚と自信を強めるための講座です。 1年次に学習し練習を重ねた内容を再確認しながら、面接の種類によってアプローチの方法を変え、業種や企業ごとに過去問題を使用して本番に備えていきます。フラッシュカードを使って質疑応答の際に必要な瞬発力を鍛え、受け応えの様子を撮った動画を見ながら、自分自身を客観的に分析し必要な部分を改善していきます。				
到達目標	○緊張している自分を客観視できるようになる。 ○本来の自分らしさを損なうことなく自己表現できるようになる。 ○自信を持って、自分らしく面接試験の本番に臨むための準備を整える。				
検定資格	<input checked="" type="checkbox"/> なし ・ 必修 ・ 任意 名称:				
教科書 教材	適宜プリント配布				
授業計画	<p>① 導入：一年次の復習及び進捗状況の確認 (自己分析・企業研究・ESに関する個々の進捗状況及び進路変更等を個別に確認)</p> <p>② 模擬面接：面接の種類とそれぞれの目的・流れ・チェックポイント等の説明 (オンライン・グループ・個人・グループワーク/ディスカッションなど) 企業や業種ごとに分かれ、過去問を使って質疑応答練習 過去に出題されたテーマで、時間を計ってディスカッション練習</p> <p>③ 模擬面接：ペアワーク 進捗状況が近い者同士でペアを組み、フラッシュカードで瞬発力を鍛える 質疑応答の様子を互いに動画撮影し合い、改善点を探す</p> <p>【適宜対応】個々の進捗状況や企業の募集時期に応じて、エントリーシートの添削・個人指導</p>				
成績評価 方法	評価試験・自己PR/志望動機の進捗状況・出席状況・授業参加意欲(平常点)の総合評価で判断する				
成績評価 基準	<p>A：評価試験 90%以上、出席率 90%以上、平常点 優</p> <p>B：評価試験 80%以上、出席率 80%以上、平常点 良</p> <p>C：評価試験 70%以上、出席率 60%以上、平常点 可</p> <p>D：評価試験 70%未満、出席率 60%以下、平常点 不可</p>				

## 学生へのメッセージ

就職活動の本質は、他者との比較や競争ではないはず  
自分自身の過去・現在・未来とじっくり向かい合い、最終的にあなた自身が納得できる就職をするために一緒に頑張りましょう

シラバス(授業計画)

科目名	パソコンスキルⅡ・Ⅲ		科目区分	専門科目
対象	エアライン科 キャビンアテンダントコース・エアポートサービスコース・エアポートカーゴコース		授業形式	演習
実施期	2年 前期・後期	単位数	前期：1単位 後期：1単位	時間数 前期：15時間 後期：15時間
担当	宮崎 愛子			
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無	パソコン講師として実務経験あり。		
授業概要	現代社会において、仕事上PC操作は必須です。1年時の学習を踏まえて実践力を習得する。ワードではビジネス文書作成、エクセルでは基本関数およびグラフによるデータの視覚化とデータ分析力を修得する。また、パワーポイント操作ではプレゼンテーション資料の作成を修得する。			
到達目標	ワード・エクセルを含めたPC操作の基本を理解し、ビジネス文章の作成や、データからグラフ作成・データベース操作、パワーポイントを利用したプレゼンテーション資料が作成できるようにする。			
検定資格	なし ・ 必修 ・ <u>任意</u> 名称: 日本語ワープロ検定・マイクロソフトオフィススペシャリスト(MOS)検定			
教科書教材	「30時間アカデミック情報リテラシー Office2016」(実教出版) ※1年時の教科書を使用します			
授業計画	<p>【PC基本操作の確認】 1年時に学習したキーボードを利用しての入力練習(英数字・かな・漢字変換・文字の修正)、ワープロソフトを使い文章入力を復習する。 ホームポジションを意識した入力を実施する。</p> <p>【ワード基本作業】 文章入力練習を行う。 ワードアート・図形描画を利用した表現力のある文書作成を行う。 ビジネス文書の基礎や仕組みを学び、手書き問題からビジネス文書を作成する。(表作成含む)</p> <p>【パワーポイント基本作業】 操作方法を学習し、プレゼンテーション資料を作成する。(20分で1枚程度作成を目標とする。)</p> <p>【エクセル基本作業】 データ入力の基本を学ぶ。 データ入力の基本を理解し、関数を利用した表計算機能やデータベース操作を学習する。 データを利用してグラフ作成を行い、視覚的分析力の方法を学ぶ。</p>			
成績評価方法	※平常点は、授業への参加度や授業態度などを加味して20点満点とし、上記評価点数に組み込まれる。 ※ワード、エクセル共に、文書作成を課題として提出する。			
成績評価基準	A: 評価試験 80点以上、出席率 80%以上、課題提出、平常点 15点以上優 B: 評価試験 70点以上、出席率 70%以上、課題提出、平常点 10点以上良 C: 評価試験 50点以上、出席率 60%以上、課題提出、平常点 5点以上可 D: 評価試験 50点未満、出席率 60%未満、課題未提出、平常点 5点未満不可			

学生へのメッセージ

スマートフォンが1台あれば何でもできてしまう時代のため、「パソコンが苦手」と公言する方も少なくありません。しかし、仕事をする上でパソコン操作は必須です。就職してから困らないように、前向きに学習しましょう。

## シラバス(授業計画)

科目名	手話講座Ⅲ・Ⅳ		科目区分	専門科目
対象	エアライン科 キャビンアテンダントコース・エアポートサービスコース・エアポートカーゴコース		授業形式	演習
実施期	2年 前期・後期	単位数	前期：1単位 後期：1単位	時間数 前期：15時間 後期：15時間
担当	担当講師			
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無	手話通訳士		
授業概要	ユニバーサルサービスとして接客における手話を身に着ける。前期は4級の単語学習を中心におこない、後期は会話練習などを行う。聴覚障がいの基礎知識について学び、聴覚障がいをお持ちのお客様に対して手話などの方法でコミュニケーションがとれるようにする。			
到達目標	2年次においては手話検定4級レベルを目指す。			
検定資格	なし・必修・ <input checked="" type="checkbox"/> 任意 名称:手話技能検定4級			
教科書 教材	手話技能検定公式テキスト3・4級 (日本能率協会マネジメントセンター)			
授業計画	<p>【日常生活に必要な基本を学習Ⅰ】 あいさつ・天候・疑問・数字・日にち・時間・家族・色・方角・感情・動作・自然・仕事などを学習する。</p> <p>【日常生活に必要な基本を学習Ⅱ】 食べ物・動物・スポーツ・趣味・乗り物・形容詞・副詞・施設・地名・接客手話などを学習する。</p> <p>【日常生活に必要な基本を学習Ⅲ】 ロールプレイなどで日常会話や接客手話を学習する。また検定対策に向けて過去問題の学習を行う。 ろう者のゲストを呼び時、実際に手話を使って交流を行う</p> <p>【聴覚障がいの基礎知識】 聴覚障害者とは、日本手話と日本語対応手話、聴覚障害者数、コミュニケーションの多様性とその実践、聴覚障害者と法律・条例、耳の構造と補聴器、さまざまなマーク、ろう文化とは</p>			
成績評価 方法	授業内におこなう実技試験と期末試験、出席率、授業態度を総合的に評価します。			
成績評価 基準	A: 評価試験 80 点以上、出席率 80%以上、平常点優 B: 評価試験 60 点以上、出席率 70%以上、平常点良 C: 評価試験 40 点以上、出席率 60%以上、平常点可 D: 評価試験 40 点未満、出席率 60%未満、平常点不可			

## 学生へのメッセージ

--

## シラバス(授業計画)

科目名	韓国語 Ⅲ・Ⅳ		科目区分	専門科目
対象	エアライン科 キャビンアテンダントコース・エアポートサービスコース・エアポートカーゴコース		授業形式	講義
実施期	2年 前期・後期	単位数	前期：1単位 後期：1単位	時間数 前期：30時間 後期：30時間
担当	渡部 茂 実務経験：有・ <input type="checkbox"/>			
授業概要	教科書の各場面設定の例文をなぞることで文字書きにも慣れ、「パターン化」した例文のシャドーイングを反復練習する。			
到達目標	一年次で学んできた韓国語の約束事を各場面・状況に応用し、日本語のように「自分自身の語彙と表現」で、より高度な複文の発話運用が出来るようになること。			
検定資格	なし・必修・ <input type="checkbox"/> 名称：ハングル検定（日本主催）、韓国語能力試験（韓国主催）			
教科書 教材	「例文をなぞって覚える 場面別会話集」 渡部 茂 著			
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 基本的な会話 一日の挨拶、何を召し上がりますか、こちらへどうぞ 等</li> <li>2. 日常会話 「ITHB学校」はどこですか、ITHB学校で何を学んでいますか 等</li> <li>3. 旅行・観光 機内にお忘れ物が無いように、お飲み物はいかがですか、酸素マスクの説明書もあります 等</li> <li>4. ホテル滞在 部屋を予約したいのですが、少々お待ち頂けますか調べてみます、非常口はどちらに行けば 等</li> <li>5. 飲食会話 この近くに美味しい食堂はありますか、友達二人が遅れて来ます、窓側の禁煙席をお願いします 等</li> <li>6. 交通・乗り物 「ITHB学校」まで行って下さい、千葉駅はどこですか、友達と隣の席にして欲しい 等</li> <li>7. ショッピング プレゼントを買いたいのですが、サイズがもっと大きい物を見せて下さい、試着室はどこですか 等</li> <li>8. 美容・エステ・整形 垢すりに行かない、キュウリパックをお願いします、明るい色に染めてみようかな 等</li> <li>9. 看病・介護・病気 コロナ肺炎には気を付けなくてはね、病院で注射を打ってもらいました、どのくらいで良くなりますか 等</li> <li>10. 感情表現 胸がいっぱいです、もう少し考えさせてくれる、私の話し最後まで聞いてよ、あれ 恥ずかしいな 等</li> <li>11. 人生の出来事 結婚おめでとうございます、余りに感動して涙が出ました、ウェディングドレス姿がとても素敵です 等</li> <li>12. スマホ・パソコン この場所電波が悪いな、ハングルの入力の方法が分かりません、アドレス教えてくれる 等</li> </ol>			
成績評価 方法	出席の状況並びに積極的な授業参加の意欲・姿勢等 各単元整理の演習小テストの理解度			
成績評価 基準	A: 出席率 80%以上、評価試験（理解度）80%以上、 B: 出席率 70%以上、評価試験（理解度）70%以上、 C: 出席率 60%以上、評価試験（理解度）60%以上、 D: 出席率 60%未満、評価試験 受験不可			

## 学生へのメッセージ

外国語はただ読めるだけで終わらせず、自分の言葉で自己主張が出来る発信がポイントである。今後のグローバル化の進展の中で、コミュニケーション道具の一部と認識し、就職活動中や内定後であっても、ペースダウンすることなく、積極的に授業参加に努めて欲しい。将来の労働力不足傾向の日本社会の現状をふまえ、自己発信力として活用することで、自己存在の確立を高める姿勢が重要だ。

シラバス(授業計画)

科目名	中国語Ⅲ・Ⅳ		科目区分	専門科目
対象	エアライン科 キャビンアテンダントコース、エアポートサービスコース、エアポートカーゴコース		授業形式	講義
実施期	2年 前期・後期	単位数	前期：1単位 後期：1単位	時間数 前期：30時間 後期：30時間
担当	張翼飛			
	実務経験：有・ <input type="checkbox"/> 無			
授業概要	この授業は1年の発音と基本文法を学習後の応用コースです、主に初歩的な表現とその応用を中心に行い、特に空港もしくは空港関連する職場で使う会話を取り入れたいです。			
到達目標	空港でよく使う中国語フレーズを会話できるように。			
検定資格	なし・必修・ <input type="checkbox"/> 任意 名称:中国語検定試験			
教科書 教材	中国語初歩の初歩（高橋書店） 講師作成プリントに基づき学習します。			
授業計画	<p>【中国語の概要】 ピンインと四声の復習 基本の挨拶と呼びかけ 出会いと別れの挨拶</p> <p>【空港で使える中国語を学習】 チェックイン編 出国編 免税編 搭乗編 機内編</p> <p>【空港で使える中国語の会話練習】 空港で搭乗口の場所を教える時に使う中国語 空港で荷物の重さ制限の説明する時に使う中国語 空港で危険物を尋ねる時に使う中国語</p> <p>【テストと復習】 テストと復習</p>			
成績評価 方法	下記評価基準に基づく			
成績評価 基準	<p>A: 評価試験(理解度)80%以上、出席率80%以上、平常点 優</p> <p>B: 評価試験(理解度)70%以上、出席率70%以上、平常点 良</p> <p>C: 評価試験(理解度)40%以上、出席率60%以上、平常点 可</p> <p>D: 評価試験(理解度)40%未満、出席率60%未満、平常点 不可</p>			

学生へのメッセージ

中国語を習得してから、日常生活楽しいこともひとつ増えますし、就職も役に立ちますし、自信もついて来ますし、ぜひ中国語授業を楽しんでください。

## シラバス(授業計画)

科目名	通関ビジネス検定対策Ⅱ		科目区分	専門科目
対象	エアライン科エアポートカーゴコース		授業形式	講義
実施期	2年 前期	単位数	前期：1単位	時間数
担当	栞原 和希			
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> ・無	物流関連企業にて実務経験あり。		
授業概要	国際航空貨物取り扱いに際し、ロジスティクス業務・輸送・通関に至るまでの流れについて学ぶ。			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・流通と物流</li> <li>・航空・海上輸送</li> <li>・ロジスティクス</li> <li>・通関関連法並びに通関関連実務</li> </ul>			
検定資格	<input type="checkbox"/> なし・必修・任意 名称:			
教科書 教材	講師作成の資料			
授業計画	<p><b>【通関関連法並びに通関関連実務】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保税制度</li> <li>・HSコードと関税率</li> <li>・輸出入申告</li> <li>・関税、消費税その他知識</li> </ul> <p><b>【総復習】</b></p> <p>試験対策として過去問題を使用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・流通、物流の意義</li> <li>・航空、海上輸送の概略</li> <li>・使用機材</li> <li>・航空運送状および船荷証券(AWB・B/L)</li> <li>・3PLと4PL</li> <li>・サプライチェーンおよびマネジメント</li> </ul>			
成績評価 方法	下記評価基準に基づく			
成績評価 基準	<p>A: 評価試験(理解度)80%以上、出席率80%以上、平常点 優</p> <p>B: 評価試験(理解度)70%以上、出席率70%以上、平常点 良</p> <p>C: 評価試験(理解度)40%以上、出席率60%以上、平常点 普通</p> <p>D: 評価試験(理解度)40%未満、出席率60%未満、平常点 不良</p>			

### 学生へのメッセージ

## シラバス(授業計画)

科目名	エアカーゴ実務Ⅱ(フォワーダー)			科目区分	専門科目
対象	エアライン科エアポートカーゴコース			授業形式	講義
実施期	2年 前期	単位数	前期 : 2 単位	時間数	前期 : 30 時間
担当	栞原 和希				
	実務経験 : <input checked="" type="checkbox"/> ・ 無	物流関連企業にて実務経験あり。			
授業概要	1 年次は主にカーゴハンドリング(貨物取扱・空港内の現場作業)及び税関、航空貨物に係る基礎知識を学習しましたが、2 年次は、国際航空貨物を取り扱う中心的な存在である「航空貨物代理店(フォワーダー)」における必要不可欠な業務知識を学びます。				
到達目標	「航空貨物代理店(フォワーダー)」に関する知識を習得				
検定資格	<input type="checkbox"/> ・ 必修 ・ 任意 名称:				
教科書 教材	講師作成の資料				
授業計画	<p><b>【国際航空貨物代理店の仕事】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○輸出航空貨物の基本的な流れ、各部門の役割り (貨物引取りから通関・混載仕立て、航空会社引渡しまでの業務)</li> <li>○輸入航空貨物の基本的な流れ、各部門の役割り (貨物到着から混載仕分け・通関、配達までの業務)</li> <li>○国際航空貨物代理店のIT(情報技術)</li> <li>○損害賠償(運送約款、クレーム処理等)</li> <li>○倉庫における荷扱い、各種ISO規格(品質、情報他)</li> </ul> <p><b>【通関業務】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○NACCS(通関情報処理システム)、その他システム</li> <li>○日本の貿易管理制度(各種法令等)</li> <li>○輸出入申告業務、統計・関税品目仕分け</li> <li>○新しい物流の概要(サプライチェーンマネジメント等)</li> </ul>				
成績評価 方法	評価試験については、期末に試験を実施。 その他の項目については、下記成績評価基準に順じ評価を行います)				
成績評価 基準	A. 評価試験(理解度)80%以上、出席率 80%以上、平常点 優 B. 評価試験(理解度)70%以上、出席率 70%以上、平常点 良 C. 評価試験(理解度)40%以上、出席率 60%以上、平常点 普通 D. 評価試験(理解度)40%未満、出席率 60%未満、平常点 不良				

### 学生へのメッセージ



## シラバス(授業計画)

科目名	ディプロマ対策 IB			科目区分	専門科目
対象	エアライン科エアポートカーゴコース			授業形式	講義
実施期	2年 前期	単位数	前期 : 2 単位	時間数	前期 : 30 時間
担当	栞原 和希				
	実務経験 : <input checked="" type="checkbox"/> ・ 無	物流関連企業にて実務経験あり。			
授業概要	<p>「ディプロマ=Diploma」は、免状、卒業証書という意味です。国際航空貨物業界には IATA(国際航空運送協会)＝世界の民間航空事業に携わる定期航空会社の団体が実施している航空貨物輸送に関する知識と技能を認定する資格が「IATA/FIATA ディプロマ」で、国際航空貨物輸送に関する知識と技能を認定する制度(資格の取得)です。(日本では、「国際航空貨物輸送士」と呼ばれています。)</p> <p>国際航空貨物取扱いに必要な基礎知識を修得する「基礎コース」の知識を学びます。</p> <p>※テキスト及び過去問題集等を活用する。</p>				
到達目標	ディプロマ(国際航空貨物輸送士)資格取得(合格)				
検定資格	なし ・ <input checked="" type="checkbox"/> 必修 ・ 任意 名称: 国際貨物取扱士(ディプロマ基礎コース)				
教科書 教材	<p>①The Air Cargo Tariff and Rule TACT Training Edition4 (テキストブック)</p> <p>②Cargo Introductory Course textbook Edition4(テキストブック)</p> <p>③講師作成の教材講師作成の資料</p> <p>④Forms(Microsoft)を使用した練習問題</p>				
授業計画	<p>【ディプロマ受験のための演習】</p> <p>過去問題集の演習</p> <p>業界団体主催の講習会問題集の解説と演習</p> <p>受験ポイントの解説等</p> <p>【ディプロマ試験】</p> <p>2024年7月実施予定</p>				
成績評価 方法	下記成績評価基準に順じ評価を行います。				
成績評価 基準	<p>A: 評価試験(理解度)80%以上、出席率80%以上、平常点 優</p> <p>B: 評価試験(理解度)70%以上、出席率70%以上、平常点 良</p> <p>C: 評価試験(理解度)40%以上、出席率60%以上、平常点 普通</p> <p>D: 評価試験(理解度)40%未満、出席率60%未満、平常点 不良</p>				

## 学生へのメッセージ

--

## シラバス(授業計画)

科目名	国内観光地理 I・II		科目区分	専門科目
対象	エアライン科 キャビンアテンダントコース・エアポートサービスコース・エアポートカーゴコース		授業形式	講義
実施期	2年 前期・後期	単位数	前期：1単位 後期：1単位	時間数 前期：15時間 後期：15時間
担当	松川 信也 実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> 有・無 <input type="checkbox"/> 無 元添乗員、旅行コンサルティング会社経営。総合旅行業務取扱管理者。			
授業概要	空港での業務でも、日本国内のさまざまな地方から来た旅客と出会う。また日本人として観光の専門学校を卒業する以上、知っておいてほしい国内の観光地理の知識がある。当授業では、前半で基礎的な日本の観光地を学習し、後半では観光要素を交えた空港に関する知識を学習する。			
到達目標	① 日本の有名観光資源について、基本的情報を説明できる。 ② 日本国内および一部海外の空港に関する観光要素を説明できる。			
検定資格	<input checked="" type="checkbox"/> なし・必修・任意 名称:			
教科書 教材	なし(配付プリント対応)			
授業計画	<p>I.【2024 国内旅行の動向把握】 コロナ騒ぎの終結後の、講師が独自の観点で分析した 2024 年の国内旅行の動向を数点プレゼンテーションする。空港で出会うお客様とのコミュニケーション、あるいは自身が旅行する際の基礎知識を身につける。</p> <p>II.【日本の美しい風景】 基本中の基本となる国内の 47 都道府県と県庁所在地を把握した後、パワーポイントやDVDを利用し、日本国内の主要観光地情報を把握する。</p> <p>III.【日本の世界遺産】 ここ数年毎年のように新規「世界遺産」が日本に誕生し、観光振興に一役買っている。国内に存在する「世界遺産」25 か所をまとめて学習する。パワーポイント画像使用。</p> <p>IV.【空港の観光要素把握】 空港とは旅行の始まる出発点であり、既に観光要素を併せ持っている。それらを学習しながら空港での旅客の動きに注目して必要知識の習得を目指す。</p>			
成績評価 方法	前期、後期とも各パートごと終了時に小テスト(平常点としてカウント)、期末に評価試験を実施する。欠席は0点扱いとなるので注意。各期とも、評価試験、出席率、平常点の総合評価とする。			
成績評価 基準	A: 評価試験 80 点以上、かつ 出席率 80%以上、かつ 平常点優 B: 評価試験 60 点以上、かつ 出席率 60%以上、かつ 平常点良以上 C: 評価試験 40 点以上、かつ 出席率 60%以上、かつ 平常点可以上 D: 評価試験 40 点未満、または 出席率 60%未満、または 平常点不可			

## 学生へのメッセージ

週に1回、空港の専門科目から離れて、折角観光の専門学校に来た皆さんに国内旅行の楽しさを学んでいただきます。ぜひ皆さんにも、日本人として国内旅行の楽しさを体得してください。

## シラバス(授業計画)

科目名	航空機研究		科目区分	専門科目
対象	エアライン科 キャビンアテンダントコース・エアポートサービスコース・エアポートカーゴコース		授業形式	講義
実施期	2年 前期	単位数	前期：1単位	時間数
担当	逢坂 理恵			
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> ・無	航空貨物取扱企業にて職員教育担当の実務経験あり。現在も航空貨物取扱企業勤務。		
授業概要	航空業界で働くための基礎となる知識、特に航空機とその周囲で働くスタッフについて学びます。また航空機の事故事例から“空の安全”について考え、将来の職場でも安全に対し意識をもって仕事ができるように、安全の重要性を学びます。			
到達目標	航空会社業務への理解を深める。 航空業界の責任について学ぶ			
検定資格	<input type="checkbox"/> ・必修・任意 名称:			
教科書 教材	講師作成教材			
授業計画	<p>【航空機の歴史と原理】 航空機や航空会社の成り立ち、航空機の種類と構造 航空機が離陸するためにかかる力と原理</p> <p>【航空機の整備と機体構造】 整備業務と資格要件 機体の部位と機種ごとの違い</p> <p>【航空機を囲む人々と作業】 航空機が出発するまでの流れと携わるスタッフ 航空機の周囲で使用される支援機材</p> <p>【航空機の安全/全体復習】 バランスの重要性と航空機事故の紹介 まとめ</p>			
成績評価 方法	学期末に行う評価試験、出席状況と授業参加意欲により評価される。 (評価試験は欠席の場合、0点として取り扱う)			
成績評価 基準	A: 評価試験(理解度)90%以上、出席率90%以上、平常点 優 B: 評価試験(理解度)70%以上、出席率80%以上、平常点 良 C: 評価試験(理解度)40%以上、出席率60%以上、平常点 可 D: 評価試験(理解度)39%以下、出席率60%未満、平常点 不可			

## 学生へのメッセージ

航空業界を目指す上で必要な知識が満載です。飛行機の仕組み、航空業界の仕事について学びながら、就職活動や就職後の仕事にも活かせる知識を学んでいきましょう。半年間、よろしくお願いいたします。

## シラバス(授業計画)

科目名	ワールドデスティネーションズⅢ・Ⅳ		科目区分	専門科目
対象	エアライン科 キャビンアテンダントコース・エアポートサービスコース・エアポートカーゴコース		授業形式	講義
実施期	2年 前期 後期	単位数	前期：1単位 後期：1単位	時間数 前期：30時間 後期：30時間
担当	担当講師			
	実務経験：有・無 旅行業界にて旅程管理実務経験あり。現在も添乗員として勤務。			
授業概要	<p>みなさんが本校で学ぶ科目の多くは、世界地理の知識を必要とします。本科目の目的は、2年間で、①世界の主だった渡航先や輸出入が行なわれる国々について幅広く学び、基本的な知識を身に着けること、②アマデウスやディプロマ等、他科目の学習の手助けとなること、③みなさんの興味を広げていただくこと、の3点です。</p> <p>2年次では、以下について理解を深めます。</p> <p>①主に日本からの渡航者が多く訪れる箇所の特徴や魅力、気候、文化、特産品 ②日本へ空輸される物品 ③言語、文化風習、各国諸事情等</p> <p>授業内容・順番は変更になる場合があります。</p>			
到達目標	世界の主要な国、都市を地図上で直ちに指し示すことができる。日本からの主だった渡航先について、文化や観光資源を理解することができる。日本への空輸品と国の特徴を結び付けて考えることができる。			
検定資格	なし・必修・任意 名称:			
教科書 教材	旅に出たくなる地図世界(帝国書院)(1年次に購入済) 世界白地図(1年次に購入済) プリント適宜配布			
授業計画	<p>【 概論 】 中米・カリブ / 南米 (1年次未履修分)</p> <p>【 オセアニア各論 】 オーストラリア / ハワイ / グアム・サイパン(概論を兼ねる)</p> <p>【 アジア各論 】 韓国 / 中国本土 / 台湾 / 香港・マカオ / ベトナム / タイ / マレーシア / シンガポール / インドネシア / フィリピン / インド 他</p> <p>【 北米各論 】 アメリカ合衆国 / カナダ</p> <p>【 中南米各論 】 メキシコ / ブラジル / ペルー / チリ / アルゼンチン</p> <p>【 ヨーロッパ各論 】 英国 / フランス / スペイン / オーストリア / スイス / ドイツ / イタリア / スカンジナビア諸国</p> <p>【 中東・アフリカ各論 】 トルコ / エジプト</p>			
成績評価 方法	評価試験、出席率、授業態度、意欲			
成績評価 基準	<p>A: 評価試験(理解度)80%以上、かつ出席率80%以上、かつ平常点 優</p> <p>B: 評価試験(理解度)60%以上、または出席率70%以上、または平常点 良</p> <p>C: 評価試験(理解度)40%以上、または出席率60%以上、または平常点 可</p> <p>D: 評価試験(理解度)40%未満、または出席率60%未満、または 平常点 不可</p>			

## 学生へのメッセージ

“デスティネーションズ Destinations”とは、「旅行などの目的地」という意味です。航空会社や空港、貨物等、国際的なものに関わって活躍しようとする皆さんにとって、世界の地勢や国々に関する基本的な情報は必須です。机の上で一緒に旅をしながら、世界への知識を深めましょう。1年次同様、みなさんの意欲的な授業の参加を、期待します。

## シラバス(授業計画)

科目名	電話応対ベーシックⅠ・Ⅱ		科目区分	専門科目
対象	エアライン科 キャビンアテンダントコース・エアポートサービスコース・エアポートカーゴコース		授業形式	演習
実施期	2年 前期・後期	単位数	前期：1単位 後期：1単位	時間数 前期：15時間 後期：15時間
担当	岸田輝美 実務経験：有・無 電話応対・マナー講師実務経験あり。現在は、マナー会社取締役。			
授業概要	あらゆるビジネスシーンに必要な「電話応対」には、正しい日本語の使い方・基本的なビジネスマナー・様々な状況に臨機応変に対応することができるコミュニケーション能力が求められます。本授業では、実践ですぐに役に立つ、社会人として最低限に必要なスキルを身に付けていく「電話総合ビジネスマナー」を学んでいきます。			
到達目標	実践ですぐに役に立つ電話応対を学ぶ。信頼関係を築くためのコミュニケーションスキルを習得します。訓練用模擬電話機「てるコーチX」でトレーニングをして即戦力を目指す。			
検定資格	なし・必修・任意 名称: 電話応対技能検定4級			
教科書 教材	ビジネスマナーテキストブック(ビューティフルマナー株式会社出版) 前向きな言葉の作り方実践ワークブック(一般社団法人日本ベップトーク普及協会)			
授業計画	<p>【総合ビジネスマナーの概要】 社会人として必要なマナー(人を思いやる心)を「武士道」から理解する。 人間関係を支える基本マナーは「愛」を学ぶ</p> <p>【日本語の特徴】 敬語の由来、慣用句等に触れ美しい日本語の表現を学ぶ 敬語の5つの基本形を学ぶ おもてなしの表現を研究する(ステップアップ)</p> <p>【電話応対のマナー】 「正確・簡潔・丁寧・迅速」、電話応対の注意点や電話のかけ方、受け方、取り次ぎ方、常套句等、実技トレーニングをしていく</p> <p>【いろいろな場面での電話応対】 電話の第一印象であるオープニングの解説と実技トレーニング 電話の向こうの「あなた」に爽やかな余韻を残しての終話(クロージング)の解説と実技トレーニング</p> <p>【前向きな言葉を意識する】 ポジティブな言葉を使うことで自分を相手を心地良くさせ、信頼関係の構築に繋げる。言葉の選び方で相手への伝わり方が違うことを学び日々の言葉使いを意識させる。</p>			
成績評価 方法	学期末には評価試験を行う。 評価試験を欠席した場合は、0点として取り扱う。出席状況、授業参加意欲も評価される			
成績評価 基準	A: 評価試験(理解度)80%以上、出席率80%以上、平常点 優 B: 評価試験(理解度)70%以上、出席率70%以上、平常点 良 C: 評価試験(理解度)40%以上、出席率60%以上、平常点 可 D: 評価試験(理解度)40%未満、出席率60%以下、平常点 不可			

## 学生へのメッセージ

社会に出たら会社の代表として電話に出ます。あなたの応対が心地よいからこの会社をお願いしたいと言われるようにファンづくりに繋がっていきましょう。電話というツールを活かして対人とのコミュニケーションスキルを学びましょう

## シラバス(授業計画)

科目名	エクササイズⅢ・Ⅳ		科目区分	専門科目
対象	エアライン科 キャビンアテンダントコース・エアポートサービスコース・エアポートカーゴコース		授業形式	演習
実施期	2年 前期・後期	単位数	前期：2単位 後期：2単位	時間数 前期：30時間 後期：30時間
担当	北原 大輔 実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無 <input type="checkbox"/> 無 スポーツインストラクターとして実務経験あり。			
授業概要	健康維持増進のために日頃から身体を動かしておくことは必要不可欠なことであり、また、身体運動量が比較的高い職業においては、高い体カレベルを保持しておくことが望ましいと言えます。基本的な運動を通じて精神力と敏捷性、持久性、平衡性など、はつらつとした身体をつくります。また、球技スポーツの体験を通して、健康および体力の向上を図るとともに、運動習慣を体得し、生涯に渡り運動・スポーツを実践できるようになることを目指します。加えて、コミュニケーション能力とリスペクトの精神を養うことで、社会人として必要とされる他者と協働する力を鍛えます。			
到達目標	健康づくりのための身体活動基準以上の運動・スポーツの実践 体力向上のための定期的なトレーニングの実践(自己目標の設定)			
検定資格	なし ・ 必修 ・ 任意 名称:			
教科書教材	なし、必要によりプリント用意			
授業計画	<p>【健康と体力/筋トレⅠ/「投げる」球技スポーツ/ウォーキング/】 「健康」、体力、「健康と体力の関係」について学ぶ 筋トレ、器具の使い方や効果について バスケットボールなど(競技特性・ルール)の理解と実践 ウォーキングの正しいやり方と効用</p> <p>【ストレッチング/持久カトレーニング】 ストレッチングの意義と実践 持久カトレーニングの意義と実践(持続性トレーニング)</p> <p>【筋トレⅡ/運動と安全/体力の測定と評価】 前期より負荷を挙げて筋力アップを図る 傷害の理解と予防 形態計測、筋力測定、運動能力テストの実施と評価</p>			
成績評価方法	※平常点は、授業への参加度や授業態度などを加味して20点満点とし、上記評価点数に組み込まれる。			
成績評価基準	A: 授業内期末試験 70点以上、出席率90%以上、平常点15点以上 優 B: 授業内期末試験 50点以上、出席率60%以上、平常点10点以上 良 C: 授業内期末試験 30点以上、出席率60%以上、平常点5点以上 可 D: 授業内期末試験 30点未満、出席率60%未満、平常点5点未満 不可			

## 学生へのメッセージ

--

## シラバス(授業計画)

科目名	危険物取扱講座Ⅰ・Ⅱ		科目区分	専門科目
対象	エアライン科 キャビンアテンダントコース・エアポートコース・エアポートカーゴコース		授業形式	講義
実施期	2年 前期・後期	単位数	前期：1単位 後期：1単位	時間数
担当	逢坂 理恵			
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無	航空貨物取扱企業にて教育担当の実務経験あり。		
授業概要	航空機に搭載する手荷物や航空貨物には、危険物とされるものが規則で定められています。危険物は取り扱いを間違えると大事故に繋がってしまうため、航空業界で働くために身に付けておくべき知識の一つです。			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・危険物の分類や危険性、ラベルを理解する・旅客手荷物に含まれる危険物を理解する</li> <li>・航空機の搭載規則を理解する・危険物規則書の見方を理解する</li> <li>・危険物申告書の作成、マーキング・ラベリングの規則を理解する・航空安全に対する意識を醸成する</li> </ul>			
検定資格	<input type="checkbox"/> なし ・ 必修 ・ 任意 名称:			
教科書 教材	講師作成教材			
授業計画	<p>【危険物とは】【規則と適用方法】【IATA 規則第1章～第2章】          国連機関や規則の種類          規則の適用方法、例外規定          認可と適用免除、隠れた危険物          微量・少量危険物</p> <p>【IATA 規則第3章】【IATA 規則第7章】【IATA 規則第9章】【全体復習】          分類区分のラベルやIMPコード、主な品目について          ラベリング・マーキングの種類          受託、保管、搭載に関する規則          旅客手荷物に関する規則          全体のまとめ</p> <p>【前期の復習】【IATA 規則第4章～第6章】          前期の復習          分類・IMPコード、危険性          受託・搭載についての規則          危険物リストの見方、引き方          容器の種類と包装基準、国連規格容器</p> <p>【IATA 規則第7章～第8章】【全体復習】          ラベリング・マーキングの表示          危険物申告書の記載内容          全体のまとめ、問題演習</p>			
成績評価 方法	学期末に行う評価試験、出席状況と授業参加意欲により評価される。 (評価試験は欠席の場合、0点として取り扱う)			
成績評価 基準	A: 評価試験(理解度)90%以上、出席率90%以上、平常点 優 B: 評価試験(理解度)70%以上、出席率80%以上、平常点 良 C: 評価試験(理解度)40%以上、出席率60%以上、平常点 可 D: 評価試験(理解度)40%未満、出席率60%未満、平常点 不可			

## 学生へのメッセージ

私たちの身の回りの物の中にも様々な種類の危険物があります。少し専門的な危険物の世界を学んでいきましょう。難しそうな内容もわかりやすく、面白いと感じる授業にしていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

## シラバス(授業計画)

科目名	ディプロマ講習			科目区分	専門科目
対象	エアライン科エアポートカーゴコース			授業形式	講義
実施期	2年 後期	単位数	後期：2単位	時間数	後期：30時間
担当	栞原 和希				
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> ・ 無	物流関連企業にて実務経験あり。			
授業概要	<p>「ディプロマ=Diploma」は、免状、卒業証書という意味です。国際航空貨物業界にはIATA(国際航空運送協会)＝世界の民間航空事業に携わる定期航空会社の団体が実施している航空貨物輸送に関する知識と技能を認定する資格が「IATA/FIATA ディプロマ」で、国際航空貨物輸送に関する知識と技能を認定する制度(資格の取得)です。(日本では、「国際航空貨物輸送士」と呼ばれています。)</p> <p>国際航空貨物取扱いに必要な基礎知識を修得する「基礎コース」の知識を学びます。</p> <p>※テキスト及び過去問題集等を活用する。</p>				
到達目標	ディプロマ(国際航空貨物輸送士)資格取得(合格)				
検定資格	なし・ <input checked="" type="checkbox"/> 必修・任意 名称:国際貨物取扱士(ディプロマ基礎コース)				
教科書教材	<p>①「ディプロマ基礎コース」ガイドブック</p> <p>●国際航空貨物マニュアル ●エアフレイト フォワードの専門用語集</p> <p>②過去問題集、航空貨物運送協会(JAFA)事前講習会問題集</p> <p>③講師作成教材</p>				
授業計画	<p>【ディプロマ受験のための演習】</p> <p>過去問題集の演習</p> <p>業界団体主催の講習会問題集の解説と演習</p> <p>受験ポイントの解説等</p>				
成績評価方法	下記成績評価基準に順じ評価を行います。				
成績評価基準	<p>A: 評価試験(理解度)80%以上、出席率80%以上、平常点 優</p> <p>B: 評価試験(理解度)70%以上、出席率70%以上、平常点 良</p> <p>C: 評価試験(理解度)40%以上、出席率60%以上、平常点 普通</p> <p>D: 評価試験(理解度)40%未満、出席率60%未満、平常点 不良</p>				

## 学生へのメッセージ

--



## シラバス(授業計画)

科目名	企業実習		科目区分	専門科目
対象	エアライン科エアポートサービスコース・エアポートカーゴコース		授業形式	実習
実施期	2年 後期	単位数	2単位	時間数
	後期 : 60時間			
担当	企業担当者			
	実務経験 : <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無	各企業現場指導者より		
授業概要	航空業界企業に出向き、業務を実際の体験を通して理解する。 精神的な成長かつ技術的な成長を成し遂げて、社会に出る為の準備を目的とする。			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実践業務を学び、知識・技術の向上</li> <li>・社会人としてのマナーの習得</li> <li>・ボランティアを通じて社会情勢を理解すると共に、おもてなしや思いやりの精神を育む</li> </ul>			
検定資格	<input type="checkbox"/> なし ・ 必修 ・ 任意 名称:			
教科書 教材	なし			
授業計画	<p>&lt;企業実習内容&gt; 各企業の館内及び施設見学、航空業界全般並びに各企業ルールと共に接客時のマナーを学ぶ。</p> <p>【キャビンアテンド】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・機内サービス/アナウンス</li> <li>・接客マナー</li> </ul> <p>【グランドスタッフ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・チェックイン業務</li> <li>・接客マナー</li> </ul> <p>【グランドハンドリング】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・カーゴハンドリング業務</li> <li>・危険物取扱業務</li> </ul>			
成績評価 方法	実習報告手帳に基づく			
成績評価 基準	<p>【年間実習時間】</p> <p>R:実習修了時間 60時間以上</p> <p>D:実習修了時間 60時間未満</p>			

## 学生へのメッセージ

--

## シラバス(授業計画)

科目名	ボランティア		科目区分	専門科目
対象	エアライン科エアポートサービスコース・エアポートカーゴコース		授業形式	実習
実施期	2年 後期	単位数	2 単位	時間数
	後期 : 60 時間			
担当	各ボランティア団体 担当者			
	実務経験 : <input checked="" type="checkbox"/> ・ 無	各企業現場指導者より		
授業概要	・ボランティア活動を通じて、他者に尽くすことで得られる幸福感や喜びを実感し、心の豊かさを育む。 (感謝の気持ちの大切さ・共感と思いやりの醸成・自己肯定感の向上)			
到達目標	・他者との良好な人間関係を築くためのコミュニケーション能力とマナーの習得。 ・ボランティアを通じて社会情勢を理解すると共に、おもてなしや思いやりの精神を育む。			
検定資格	<input type="checkbox"/> ・ 必修 ・ 任意 名称:			
教科書 教材	なし			
授業計画	<p>&lt;ボランティア&gt; 学校に募集がかかったボランティア活動、若しくは千葉市のボランティアネットワークを活用し、自身が参加したいボランティア活動へ参加。</p> <p>【ボランティア内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域貢献</li> <li>・ビーチクリーン</li> <li>・デイサービス</li> <li>・文化活動 他</li> </ul>			
成績評価 方法	実習報告手帳に基づく			
成績評価 基準	<p>【年間実習時間】</p> <p>R:実習修了時間 60 時間以上</p> <p>D:実習修了時間 60 時間未満</p>			

## 学生へのメッセージ